

取扱説明書

スキャントロニクス® **SG400R** シリーズ

このたびは、当社スキャントロニクスSG400Rシリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございました。

本書は、はじめてスキャントロニクスSG400Rシリーズをお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。

本書をよくお読みいただき、スキャントロニクスSG400Rシリーズの機能を理解し、正しくお使いください。

●安全上のご注意	1
●設置及び取り扱い上の注意	4
●箱から出しましょう	5
●各部の名称	7
●電源を入れてみましょう	11
●用紙のセット	14
●オプション使用時のセット	28
●動かしてみましょう	32
●あれ?どうしたのかな?	79
●メモ리카ートリッジの取り扱い	89
●オプションについて	91
●毎日のお手入れ	92
●基本仕様	94
●アフターフォローについて	97

サトー製プリンタには、純正サプライのご使用をお願いします。

安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は差込みプラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

警告

■不安定な場所に置かない



•ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。

■水などの入った容器を置かない



•プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■内部に異物を入れない



•プリンタの開口部（ケーブルの出口やメモリカートリッジ取付口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



■指定以外の電圧は使用しない



•指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

⚠ 警告

■必ずアース線を接続して



- 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。



■電源コードの取り扱いについて



- 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■落としたり、破損したときは



- プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



■異常な状態で使用しない



- 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



■分解しないでください



- プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご依頼ください。



■カッタについて



- カッタに手やものを入れないでください。ケガをするおそれがあります。

■プリンタ清掃液の取り扱いについて



- プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。
- お子様が間違っって飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。



⚠ 注意

■湿度が高い場所に置かない



- プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

■持ち運び



- 移動されるときは、必ず電源コードの差込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。
- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。
- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。



⚠ 注意

■電源



- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

■電源コード



- 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。



- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、差込みプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。



- 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

■カバー



- カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。

■サーマルヘッド



- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。



- サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの交換は、ケガ、火傷及び感電のおそれがありますので注意して行ってください。

■サーマルヘッドの開閉



- サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

■用紙のセット



- ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。



- ファンフォールド紙通し口のバックカバーを外し、取付けるとき、ケガをしないように注意して行ってください。

■簡易カッタ



- 刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

■長期間ご使用にならないとき



- プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。

■お手入れ・清掃のとき



- プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

ご 注 意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店ディーラーへご連絡ください。
- (4) この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

設置及び取り扱い上の注意

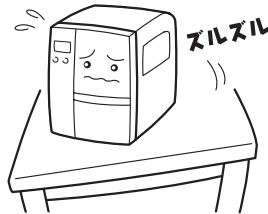
つぎのことに注意して、設置、取り扱いをおこなってください。

▲設置場所について

つぎのことに注意して、本プリンタを設置してください。

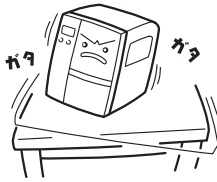
水平な場所に置いてください。

設置する場所が、でこぼこや斜めの場合、きれいな印字ができません。また、故障の原因になり、プリンタの寿命を短くするおそれがあります。



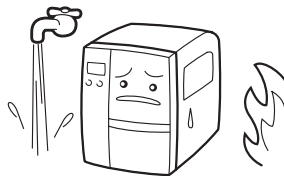
振動のある場所には置かないでください。

振動のある場所には設置しないでください。また、ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。



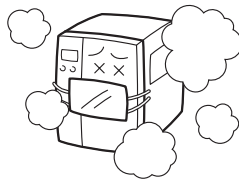
高温・多湿の場所には置かないでください。

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。温度・湿度が高くなりますと故障の原因になります。



ほこりを避けて使用してください。

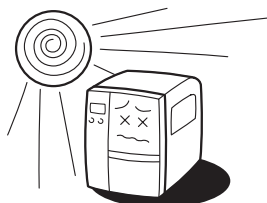
ほこりがつくときれいに印字できなくなることがあります。また、故障の原因になるだけでなく、製品の寿命を短くするおそれがあります。



直射日光はきらいです。

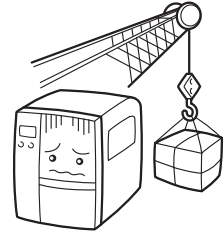
本プリンタは光学センサを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサが誤作動を起こすことがあります。印字するときは必ずカバーを閉じてください。

ハクリユニットを使用した際は、屋外で使用されますとラベル誤発行を起こす可能性があります。



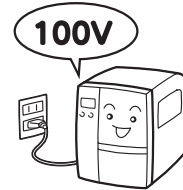
クレーンやプレス機などのそばには置かないでください。

クレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本プリンタの誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本プリンタを置かないでください。



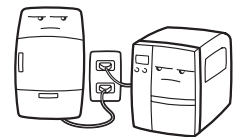
▲電源について

本プリンタは、AC100Vの交流電源が必要です。



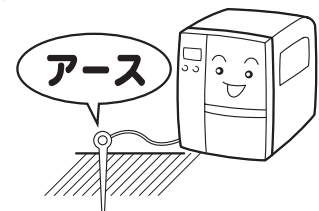
電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。



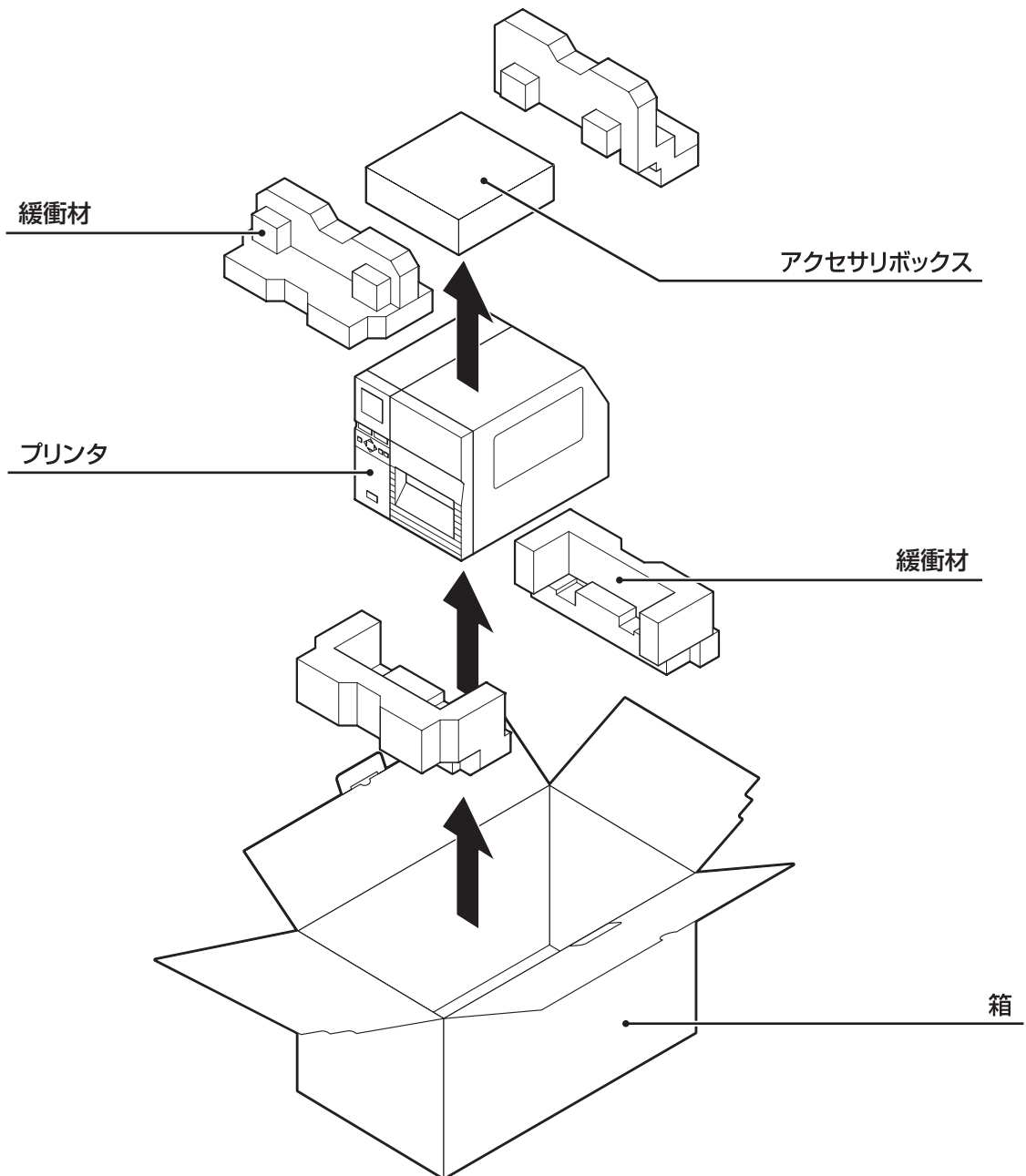
必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。



箱から出しましょう

本プリンタを箱から出して設置します。
それでは箱を開けましょう。



※緩衝材（プリンタ押えのクッション）の形状が一部異なる場合があります。

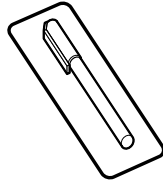
添付品の確認

箱を開けたら、つぎの添付品が揃っているか確認してください。

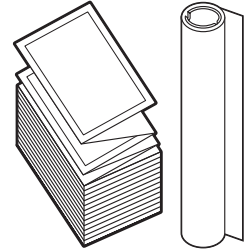
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店・ディーラーまでお問い合わせください。



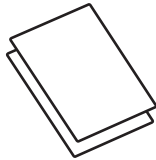
保証書



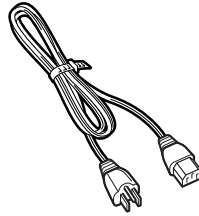
クリーニングペン



テスト用ラベルとリボン



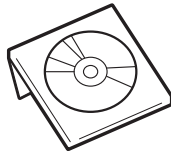
メンテナンス案内書



電源コード



取扱説明書(本書)と
セットアップガイド

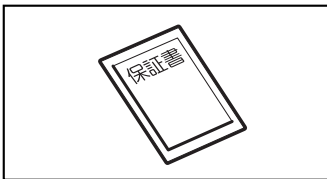


アクセサリCD-ROM

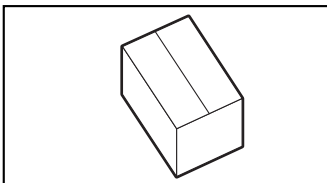


2極アダプタ

▲保証書と箱は大切に



本プリンタは、正常なご使用のもとにおける故障については、納入より6か月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、添付の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。



また、本プリンタを梱包していた箱とプリンタ押え(緩衝材)も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本プリンタを梱包して送っていただきます。

各部の名称

▲プリンタ本体

操作パネル部

メッセージを表示するディスプレイと操作を行う9つのキー、プリンタの状態を示す5つのLEDがあります。

電源スイッチ

本プリンタの電源を入れるとき、切るときに使用します。

┆側に押すと電源が入ります。
○側に押すと電源が切れます。



オープンカバー

調整パネルカバー

中には調整用ボリューム等があります。

フロントカバー

オープンカバー

リボン巻取り部

ヘッド圧調整ノブ

フロントカバー

リボン供給部

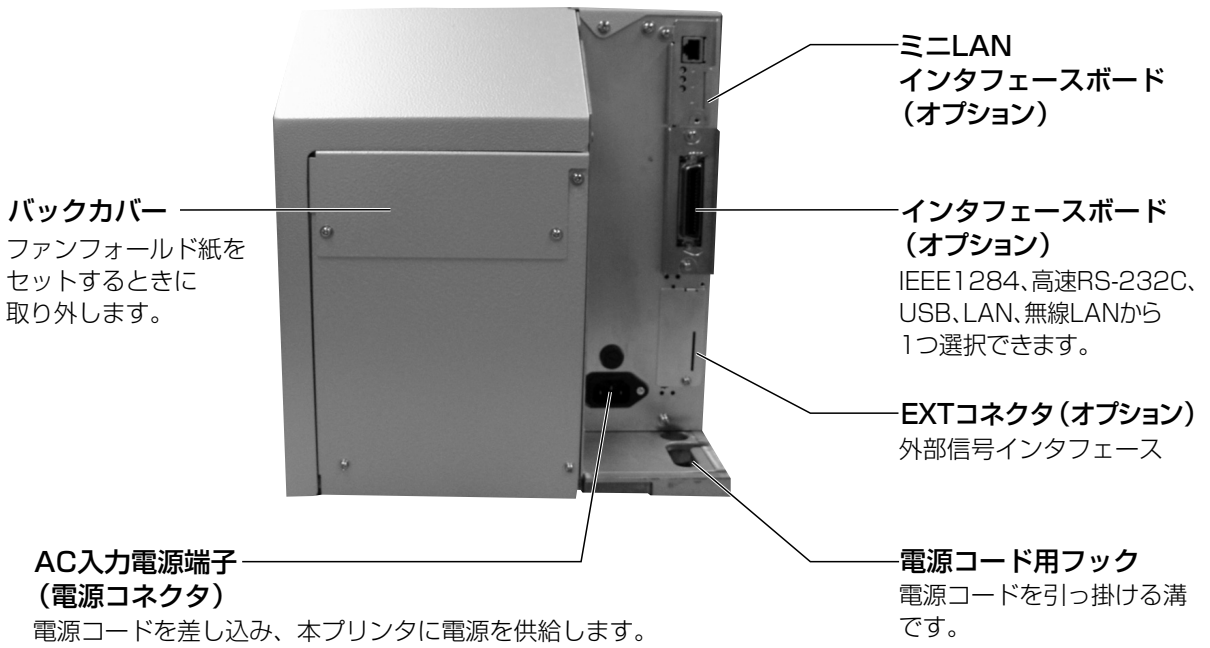
ロール紙供給部

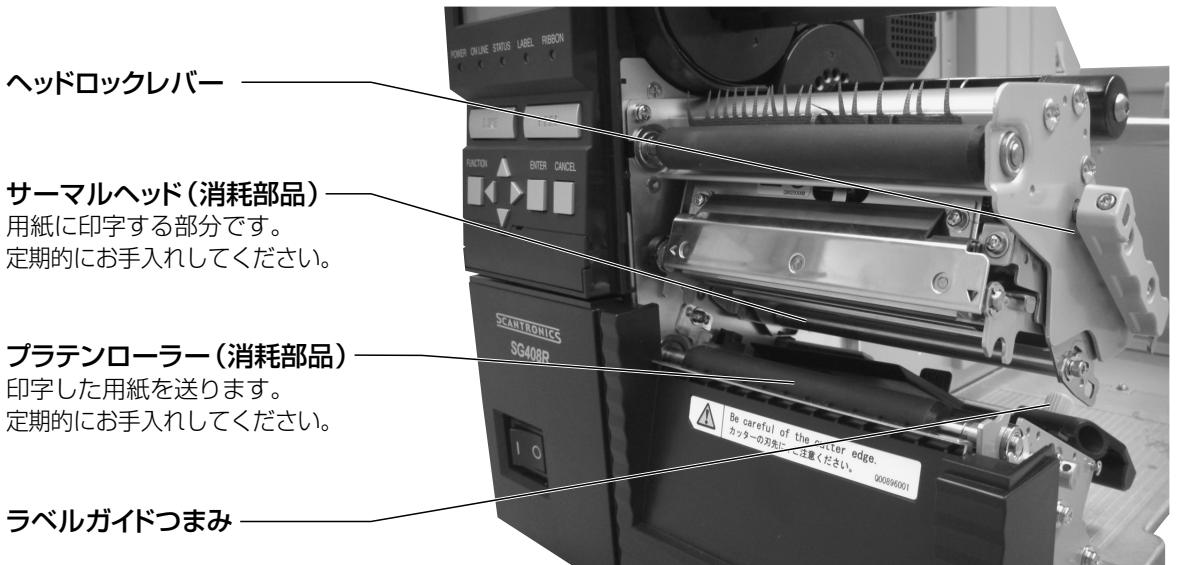
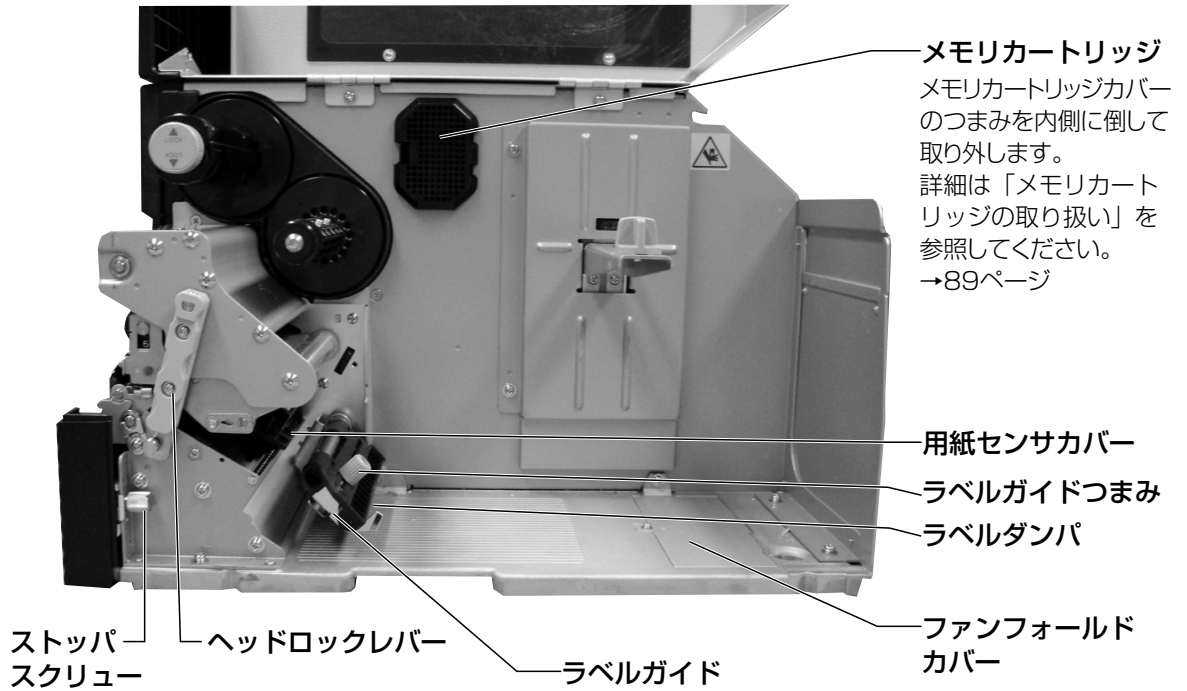
ロールガイドレバー

ロールガイド

ヘッドロックレバー

ヘッド圧調整ダイヤル





▲操作パネル

アイコン、操作メッセージやエラーメッセージが表示されます。



電源を入れてみましょう

電源コード、インタフェースケーブルのセット手順を説明します。

電源コードを接続する



警告

- 必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

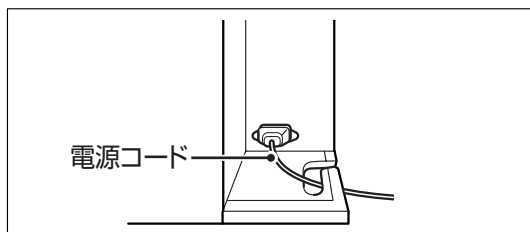


注意

- 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

▲プリンタのAC入力電源端子に電源コードを接続します。

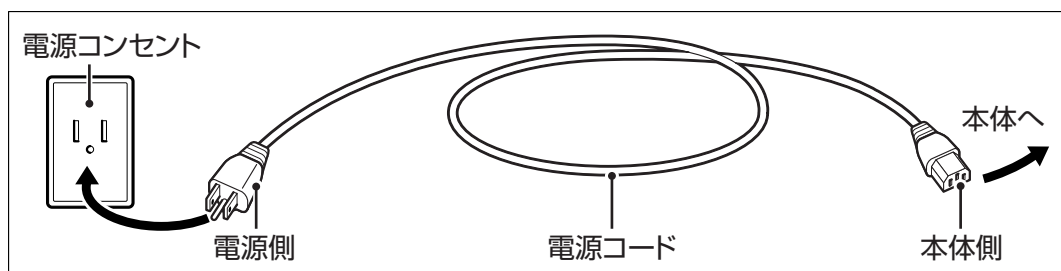
差し込む向きを確認してください。
プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと
差し込んでください。



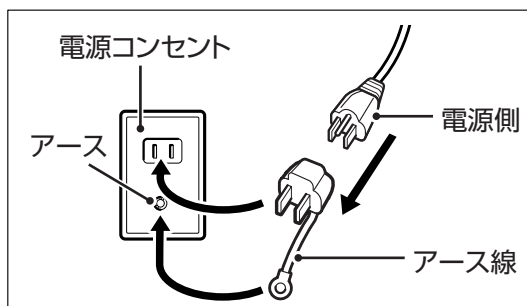
▲電源コンセントに電源コードを差し込みます。

添付の電源コードのプラグの形は、3極タイプになっています。3本の足のうち1本がアース線になっています。

ご使用の電源コンセントが3極タイプの場合はそのまま電源コードを差し込んでください。



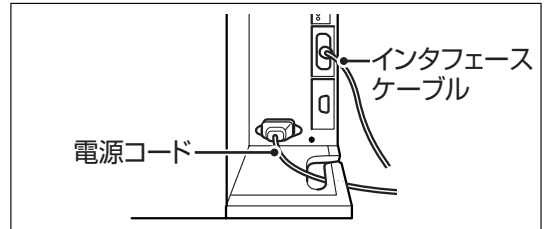
電源コンセントが2極タイプの場合は、添付の2極アダプタを使い、電源コンセントに差し込んでください。



インターフェースケーブルを接続する

インターフェースの規格に適合したケーブルをご使用ください。

差し込む向きを確認してください。
プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。



電源を入れてみましょう



警告

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



プリンタ本体前面の電源スイッチを入れます。「I」と書いてある側を押してください。

電源スイッチを入れるとディスプレイに「オンライン」と表示されます。



あれ？おかしいな

今までにおこなった準備が正しくできていないときは、ディスプレイに「オンライン」と表示されません。準備が正しくできていないときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは「あれ？どうしたのかな？」（79ページ）を参照し、準備をしておいてください。

電源を切りましょう

本プリンタが正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。

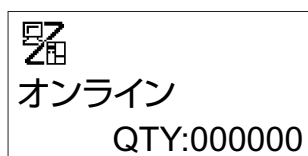
▲電源を切る前に確認してください

必ず次のことをおこなってから、電源を切ってください。

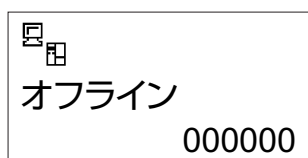
オフライン状態にする

本プリンタの電源を切るときは、オフライン状態になっていることを確認してください。

ディスプレイにつきのように「オンライン」と表示されているときは、オンライン状態になっています。



[LINE] キーを押して、オフライン状態にします。ディスプレイに「オフライン」と表示されます。



オフライン状態になっていることを確認して、本プリンタ正面の電源スイッチの「○」と書いてある側を押してください。

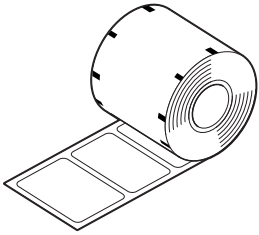


用紙のセット

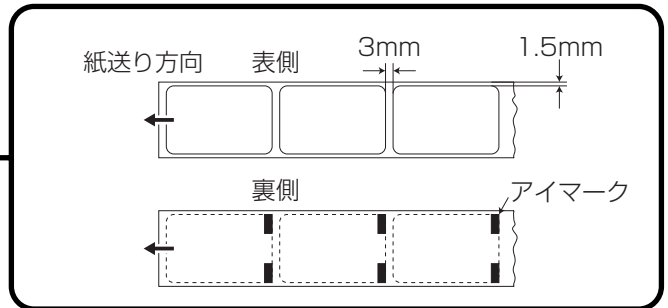
本プリンタはロール紙・ファンフォールド紙に印字することができます。
ロール紙とファンフォールド紙では、用紙のセットの仕方が違います。
本プリンタは、アイマークをセンサで検知することにより、適切な印字を行います。

サトー純正用紙のご使用をお願いします。

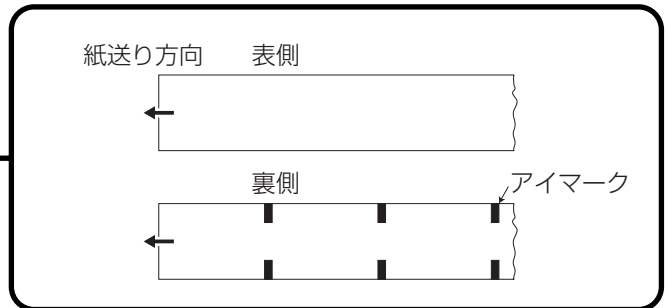
ロール紙



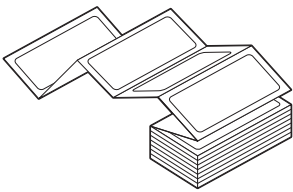
ラベルタイプ



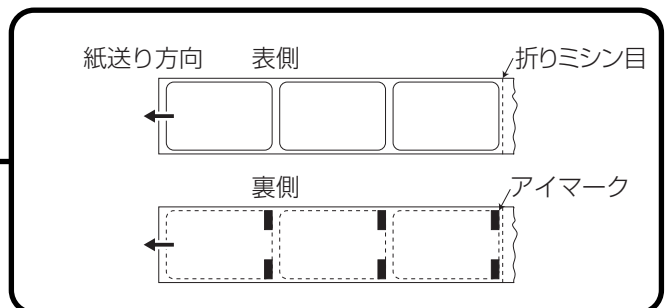
糊なしタイプ



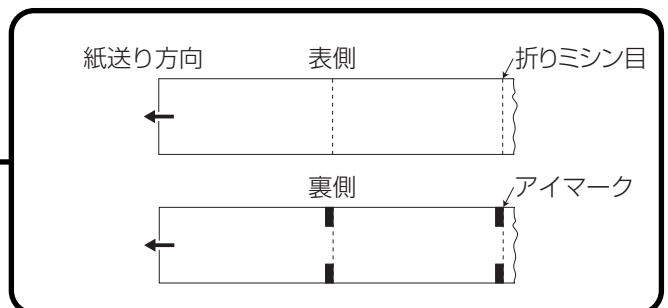
ファンフォールド紙



ラベルタイプ



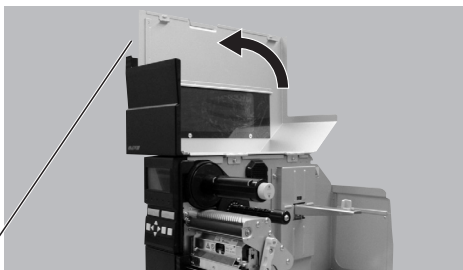
糊なしタイプ



ロール紙のセット

1

オープンカバーを開きます。



オープンカバー

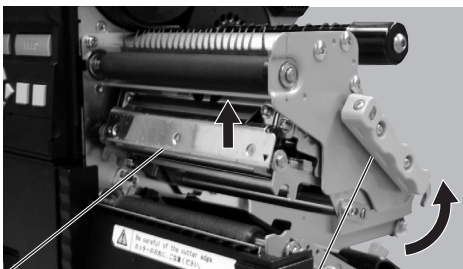


注意

オープンカバーを開くときは、上部までしっかり開いてください。

2

ヘッドロックレバーを上を上げます。
サーマルヘッドが開きます。

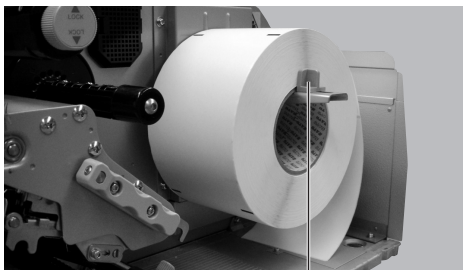


サーマルヘッド

ヘッド
ロックレバー

3

ロール紙供給部に用紙をセット
します。
ロールガイドを移動して用紙が
動かないように調整します。



ロールガイド

4

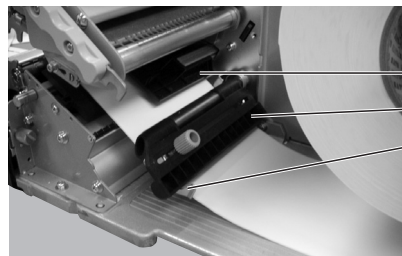
ラベルガイドつまみをゆるめて、手前の位置にセットします。



ラベルガイドつまみ

5

用紙をラベルダンパ、用紙センサカバーの下に通します。
ラベルガイドが用紙の端に軽く触れるようにし、ラベルガイドつまみをしっかりと締めてください。



用紙センサカバー

ラベルダンパ

ラベルガイド

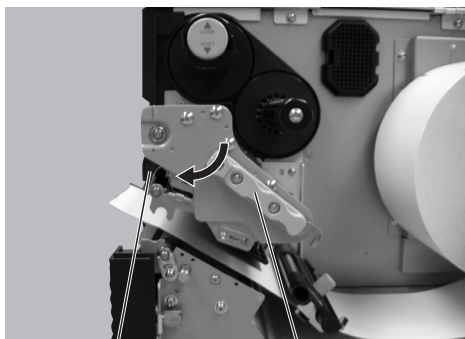


注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

6

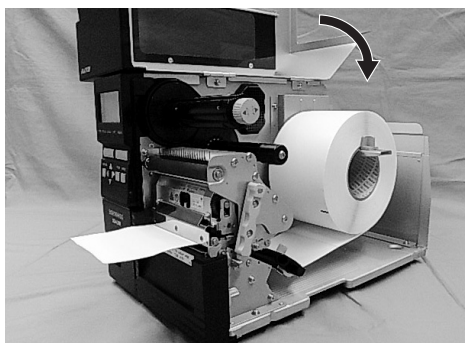
ヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。
ヘッドロックレバーはロックするまでしっかり閉じてください。



サーマルヘッド
ヘッドロックレバー

7

オープンカバーを閉めます。



注意

オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。

▲用紙幅についての調整

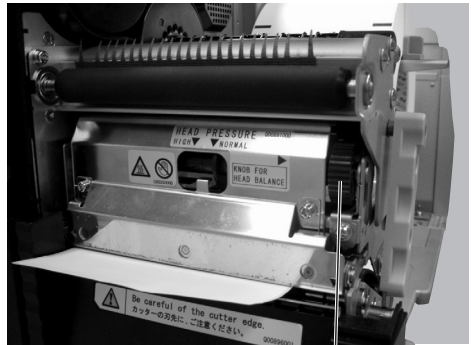
基本的には無調整できれいに印字されるように調整しておりますが、使用される用紙の幅によっては、きれいに印字されない場合があります。

その場合はヘッド圧調整ダイヤルを回して、用紙幅に対するヘッド圧バランスを調整してください。

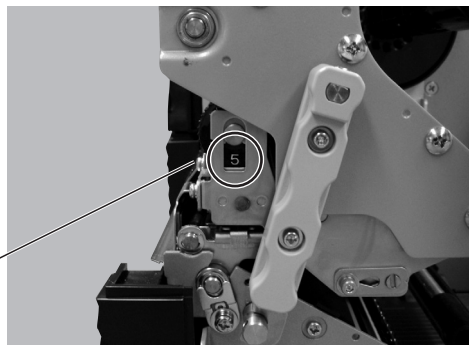
ヘッド圧バランスの目盛り	用紙幅
1	25~42mm
2	42~59mm
3	59~78mm
4	78~95mm
5	95~131mm

あくまでも用紙幅に対するヘッド圧バランスの目盛りは、目安になります。きれいに印字されている場合は、調整しないでください。

ヘッド圧バランスの目盛りが右下図のようにセットされた場合は、「5」となります。



ヘッド圧調整ダイヤル



ヘッド圧バランスの目盛り

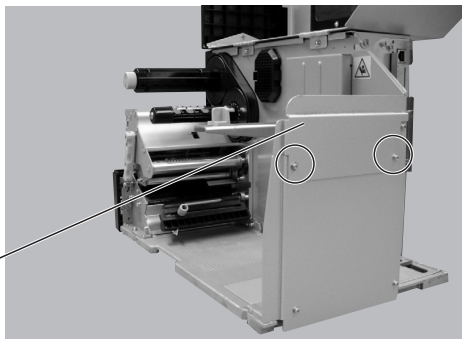
ファンフォールド紙のセット

ファンフォールド紙をプリンタの後ろに置く場合

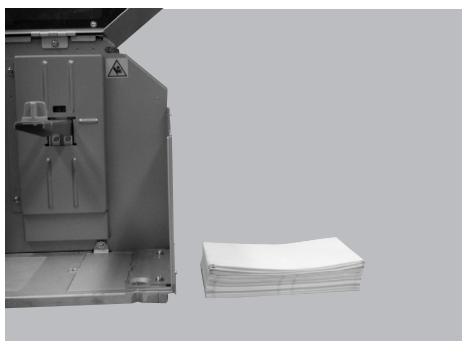
1 オープンカバーを開けます。

2 バックカバーのネジ2本を外し
バックカバーを取除きます。
外したバックカバーとネジは
なくさないように保管してく
ださい。

バックカバー



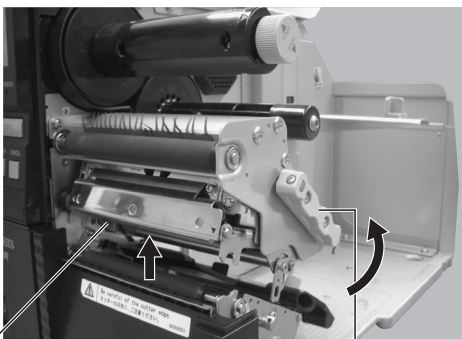
3 背面にファンフォールド紙を
セットします。
ファンフォールド紙の積み高さ
は、200mm以下としてください。



4 ヘッドロックレバーを上によ
び上げます。
サーマルヘッドが開きます。

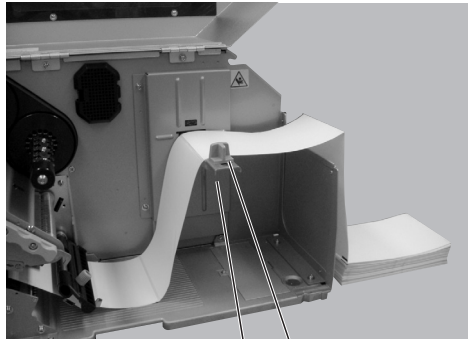
サーマルヘッド

ヘッドロックレバー



5

背面よりロール紙供給部に用紙を通します。
 ロールガイドが用紙の端に軽く触れるようにし、用紙の左右がずれないように調整します。



ロール紙供給部 ———— ロールガイド

6

ラベルガイドつまみをゆるめて、手前の位置にセットします。
 用紙をラベルダンパ、用紙センサカバーの下に通します。

**7**

ラベルガイドが用紙の端に軽く触れるようにし、ラベルガイドつまみをしっかりと締めてください。



ラベルガイドつまみ



ラベルガイド

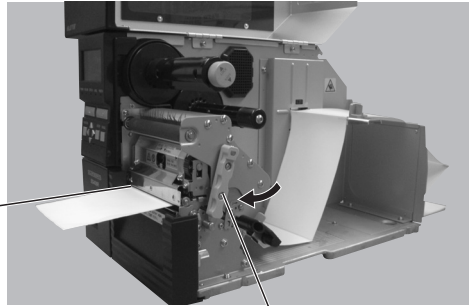
**注意**

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

8

ヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。
ヘッドロックレバーはロックするまでしっかり閉じてください。

サーマルヘッド



ヘッドロックレバー

9

オープンカバーを閉めます。



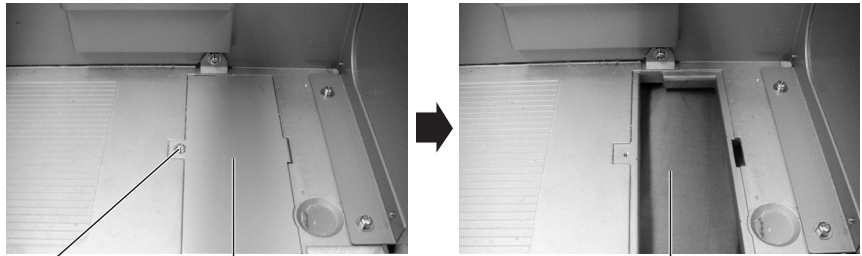
注意

オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。

ファンフォールド紙をプリンタの下に置く場合

1 オープンカバーを開けます。

2 ファンフォールドカバーのネジ1本を外し、カバーを取除きます。
外したファンフォールドカバーとネジはなくさないように保管してください。

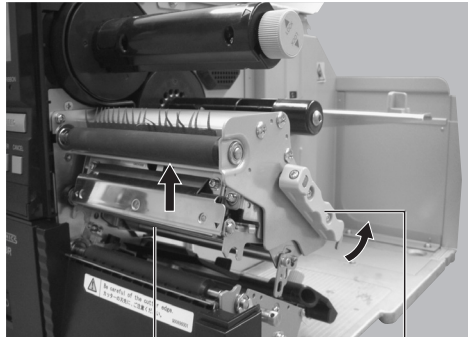


ファンフォールド
カバーネジ

ファンフォールド
カバー

ファンフォールド
挿入口

3 ヘッドロックレバーを上によります。
サーマルヘッドが開きます。

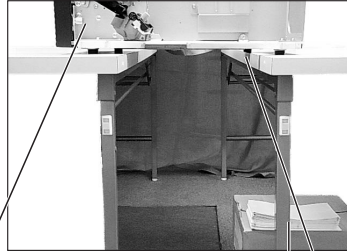


サーマルヘッド

ヘッドロックレバー

4

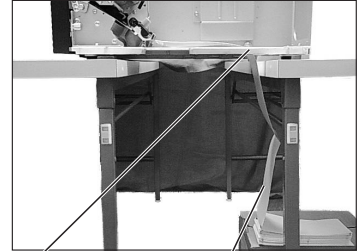
ファンフォールド挿入口に対してまっすぐになるようにファンフォールド紙をセットします。



プリンタ本体

ファンフォールド紙

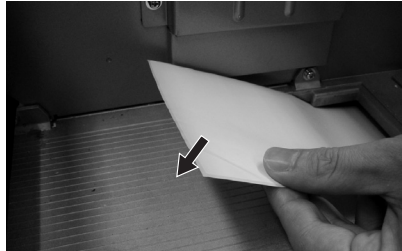
ファンフォールド挿入口



ファンフォールド紙

5

ファンフォールド挿入口より用紙を通します。
ラベルガイドつまみをゆるめて、手前の位置にセットします。
用紙をラベルダンパ、用紙センサカバーの下に通します。

**注意**

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

6

ラベルガイドが用紙の端に軽く触れるようにし、ラベルガイドつまみをしっかりと締めてください。



ラベルガイドつまみ

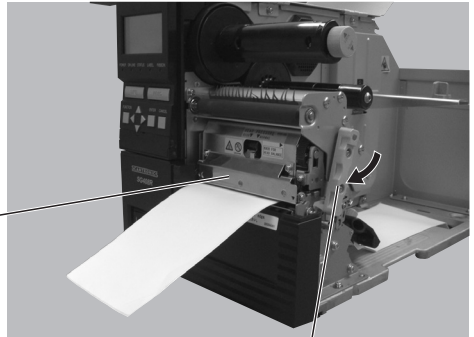


ラベルガイド

7

ヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。ヘッドロックレバーはロックするまでしっかり閉じてください。

サーマルヘッド



ヘッドロックレバー

8

オープンカバーを閉めます。



注意

オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。

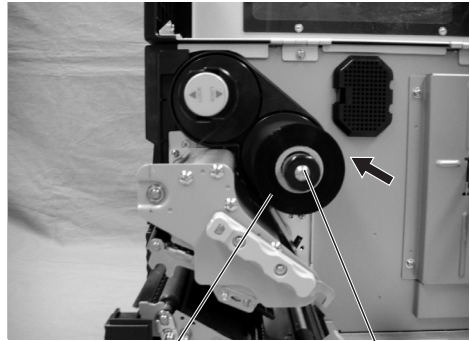
カーボンリボンのセット

サトー純正カーボンリボンのご使用をお願いします。

1 オープンカバーを開けます。

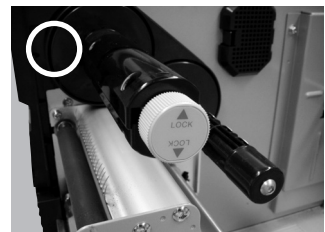
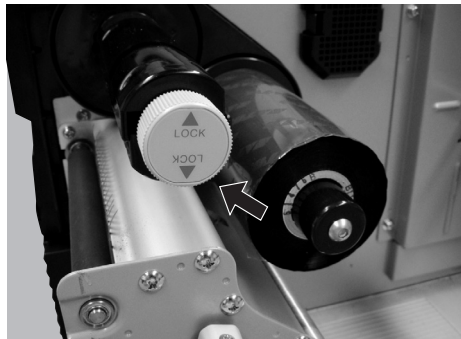
2 ヘッドロックレバーを上に出します。
サーマルヘッドが開きます。

3 リボン供給部にカーボンリボンを入れてください。
カーボンリボンを奥まで入れてください(巻き方向に注意してください。カバー内部にあるルートステッカを参照してください。)

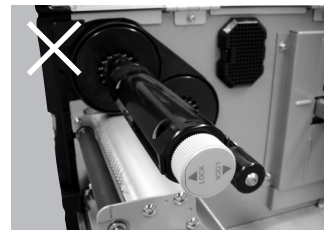


カーボンリボン リボン供給部

4 リボン巻取り部が、奥側にセットされていることを確認してください。



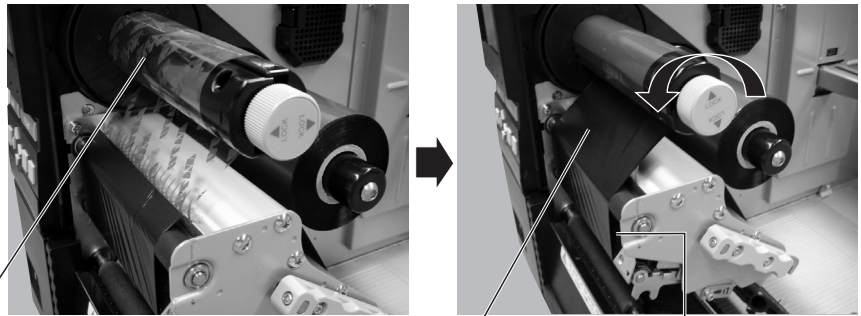
リボン巻取り部が奥側にセットされている状態



リボン巻取り部が手前に引き出されている状態

5

カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部へ通します。リボン巻取り部のグリップシートに直接カーボンリボンを巻きつけて、数回矢印の方向へ巻取ります。横から見て下図のようにカーボンリボンがセットされていることを確認してください。

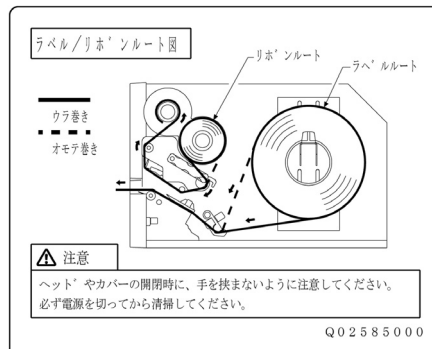


グリップシート

カーボンリボン

サーマルヘッド

トップカバーに貼られているルートステッカを参照してください。



ルートステッカ

! 注意

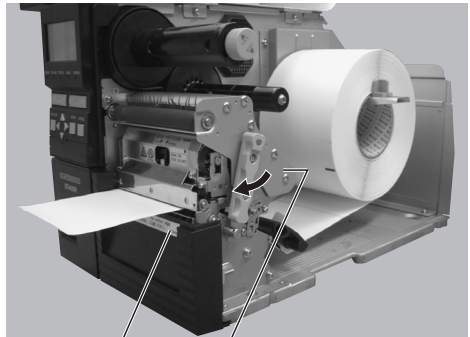
- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後のカーボンリボンの交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- カーボンリボン交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

6

用紙をセットします。
 ロール紙のセットの3～5項を行います。(15～16ページ)

7

ヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。
ヘッドロックレバーはロックするまでしっかり閉じてください。



サーマルヘッド

ヘッドロックレバー

8

オープンカバーを閉めます。

**注意**

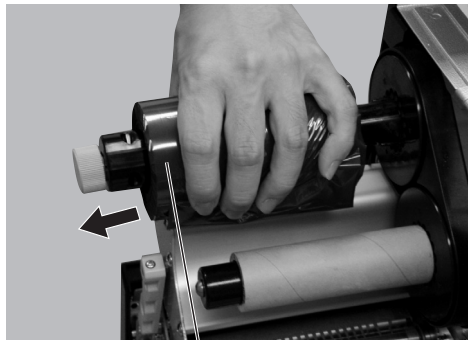
オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。

▲カーボンリボンの取り除きかた

巻取ったカーボンリボンをつかみ、ノブを90度回しロックを解除して、手前に引き抜きます。
カーボンリボンを取り除いた後は、リボン巻取り部を押し込みながら、ノブを回しロックします。



ノブ



カーボンリボン



リボン巻取り部がロックした状態



ロックが解除された状態

**注意**

- カーボンリボン1巻ごとに、巻取ったカーボンリボンを必ず取り除いてください。
- カーボンリボンを取り除く場合、手がインクで汚れる場合があります。
- ロックが解除された状態でのカーボンリボンの巻取りは出来ません。

オプション使用時のセット

カタ仕様 (オプション)

- 1** オープンカバーを開けます。

オープンカバー



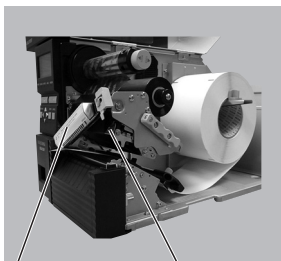
- 2** カーボンリボンをセットします。
カーボンリボンのセットの2～5項参照 (25～26ページ)

- 3** 用紙をセットします。
ロール紙のセットの2～5項参照 (15～16ページ)

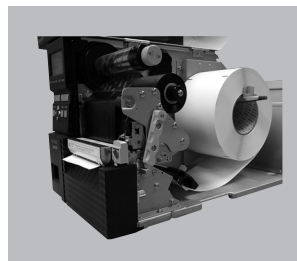
- 4** カッタユニットのオープンレバーをOPEN側に引くとカッタ上刃が開きます。



- 5** カッタユニットに用紙を通し、サーマルヘッドを閉じます。



カッタ上刃 サーマルヘッド



6

オープンカバーを閉めます。



注意

オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。



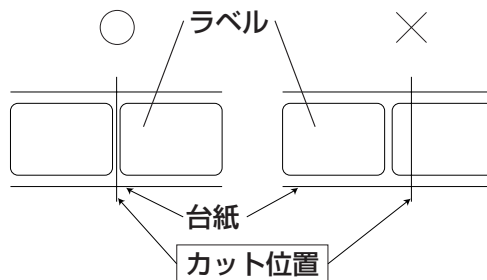
注意

- カッタに手やものを入れないでください。ケガをするおそれがあります。
- 刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

カット位置の調整

▲ラベルのカット

ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間のカストリ部分(台紙のみの部分)が正規のカット位置となります。



▲カット位置の調整

カット位置が正規の位置にない場合、調整パネルカバーに添付してある、ボリューム調整用ドライバーのプラス側を使用してOFFSET調整を行います。

ラベルの上をカットすると、糊がカッタ刃に付いて切れを悪くしますので、絶対に避けてください。



ボリューム調整用ドライバー

OFFSETボリューム



右回し：印字方向に対し前にラベル停止する
左回し：印字方向に対し後ろにラベル停止する
(ボリューム調整用ドライバーを使用してください。)

以下の項目は本プリンタで使用できる用紙の仕様となりますので、使用する前にご確認ください。

①用紙厚さ（台紙含）は0.060～0.268mmです。

詳しくは、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。

②カット精度は、±1.5mmです。

③カッタユニットは、用紙長さ（台紙含む）が20～400mmまで有効です。

但し、使用条件によってはカットサイズを制限する場合があります。

▲ミシン目のある用紙のカット

ロール紙の場合、ミシン目の上から手前1mmまではカット禁止領域（図1）です。

またファンフォールド紙の折りミシン目から+4～+25mmもカット禁止領域（図2）です。

この部分でのカットは動作不良の原因となります。

ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするようにボリューム調整用ドライバのプラス側を使用してオフセット調整を行います。

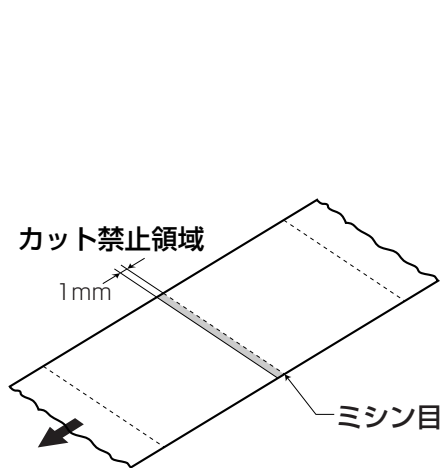


図1 ロール紙の場合

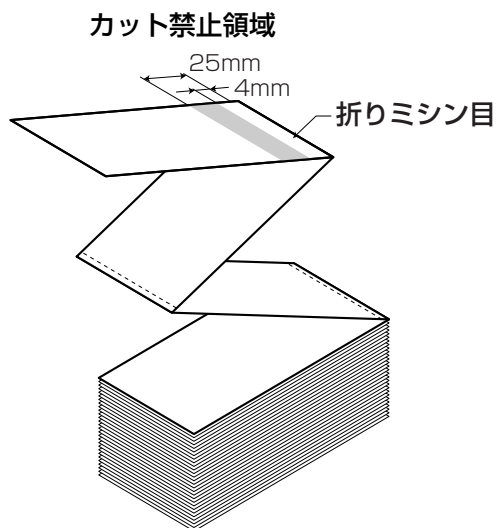


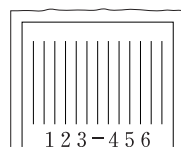
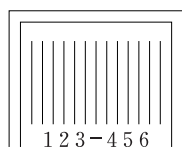
図2 ファンフォールド紙の場合

カッタの交換

カッタを使用していきますと、摩耗により切れが悪くなり、カット面がケバ立ちます。

このような状態になりましたら、カッタユニットの交換が必要です。

その際は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。



動かしてみましよう

本プリンタを動かしてみましよう。本プリンタを動かすのに必要な操作のしかたや機能を覚えてください。

動かしてみる前に

本プリンタを本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。

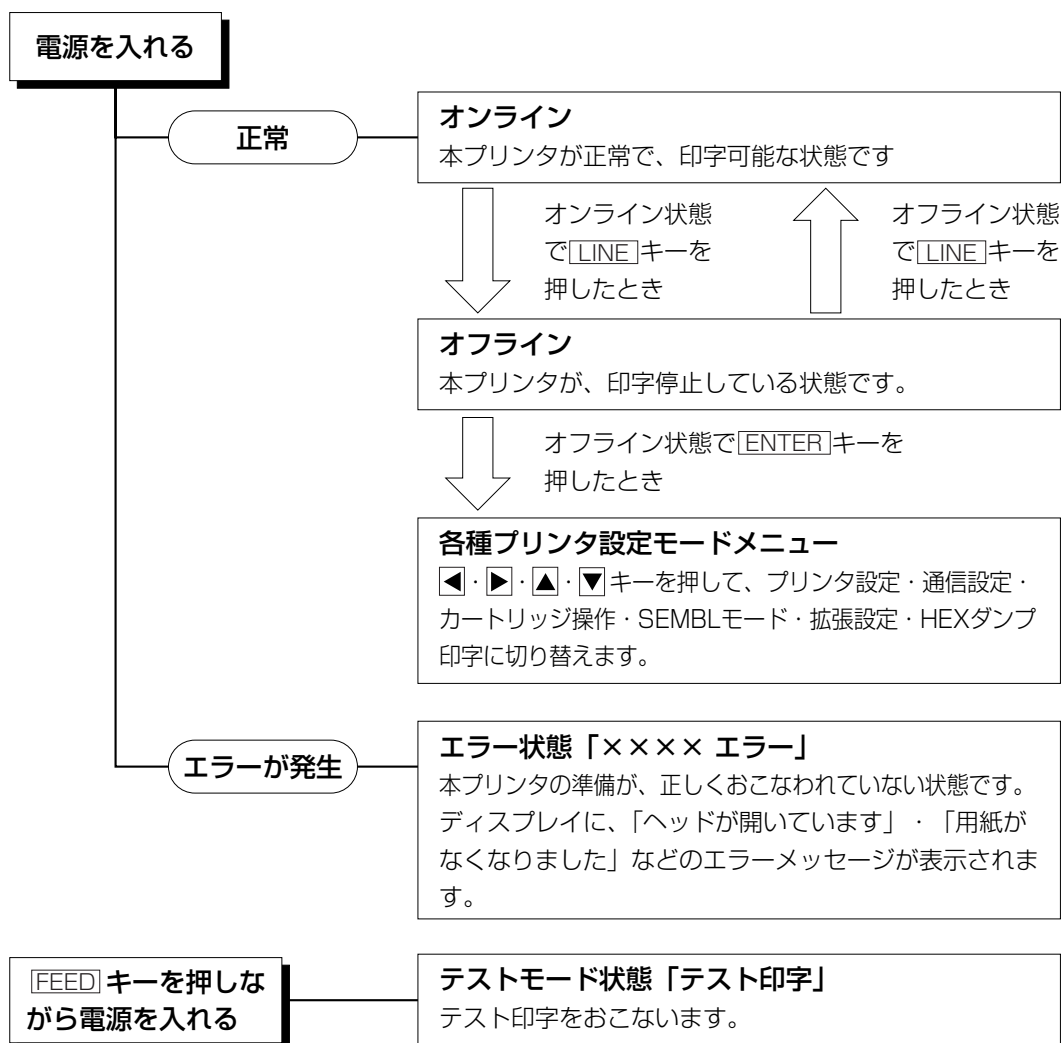
本プリンタは、操作パネル上にある操作キーで簡単に操作できます。

5つの状態から、いろいろな操作をおこないます。

▲操作の流れ

本プリンタはオンライン・オフライン・プリンタ設定モード・エラー・テストモードの5つの状態から操作をおこないます。

5つの状態と操作の流れをよく理解してください。



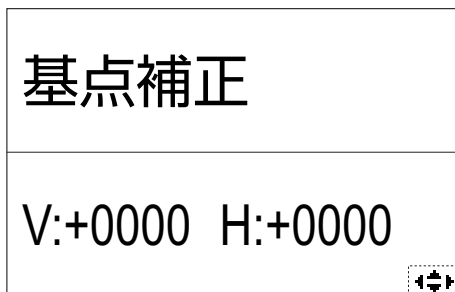
ディスプレイ画面の表示

▲通常モード



- ← **アイコン表示部**
プリンタの状態を示すアイコンを最大で5個表示します。
アイコンは各種プリンタ設定モードのときは表示されません。
- ← **メッセージ表示部**
各種メッセージを最大2行で表示します。








▲各種プリンタ設定モード











- ← **設定項目表示部**
設定項目名を最大2行で表示します。
- ← **設定内容表示部**
現在の設定内容を最大3行で表示します。
表示方法は各設定で異なります。
- ← **有効操作キー表示部**
表示中の画面で操作可能なキーを画面右隅に表示します。
表示するキーは方向キー (◀・▶・▲・▼) のみです。

▲アイコン一覧









【モード表示】

No	アイコン	説明	表示位置
1		プリンタがオンライン状態の時に表示します。	アイコン1
2		プリンタがオフライン状態の時に表示します。	アイコン1
3		プリンタがテスト印字モードおよびHEXダンプ印字の時に表示します。	アイコン1
4		プリンタがSEMBLモードの時に表示します。	アイコン1
5		プリンタがダウンロードモードの時に表示します。	アイコン1
6		プリンタがアップロードモードの時に表示します。	アイコン1
7		プリンタがカートリッジ操作の時に表示します。	アイコン1

【プリンタ設定モードメニュー】

No	アイコン	説明	表示位置
1		プリンタを通常モードに移行します。	—
2		プリンタをプリンタ設定に移行します。	—
3		プリンタを通信設定に移行します。	—
4		プリンタをカートリッジ操作に移行します。	—
5		プリンタをSEMBLモードに移行します。	—
6		プリンタを拡張設定に移行します。	—
7		プリンタをHEXダンプ印字に移行します。	—
8		プリンタをRFIDモードに移行します。	—

【エラー関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		ラベルエンドを検出した時に表示します。	アイコン1
2		リボンエンドを検出した時に表示します。	アイコン1
3		センサエラーを検出した時に表示します。	アイコン1
4		ヘッドオープンを検出した時に表示します。	アイコン1
5		ヘッド断線を検出した時に表示します。	アイコン1
6		通信エラーを検出した時に表示します。	アイコン1
7		受信バッファオーバーを検出した時に表示します。	アイコン1
8		アイテムNo.エラーまたはBCCエラーを検出した時に表示します。	アイコン1

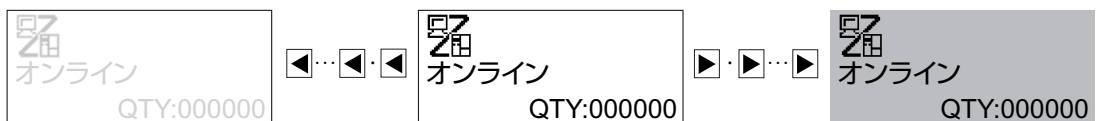
No	アイコン	説明	表示位置
9		カットエラーを検出した時に表示します。	アイコン1
10		カット上刃が開いている時に表示します。	アイコン1
11		メモ리카ートリッジに正常にアクセスできなかった時に表示します。	アイコン1
12		メインROMへの書き込みに失敗した時に表示します。 また、漢字ROMエラーを検出した時も表示します。	アイコン1
13		カレンダーエラーを検出したときに表示します。	アイコン1
14		RFIDタグに情報の書き込みができなかった時に表示します。	アイコン1
15		上記以外のプリンタエラーを検出した時に表示します。	アイコン1
16		各種エラーに対応したエラー番号を表示します。	アイコン2

【警告関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		リボンニアエンドを検出した時に表示します。	アイコン3~5
2		ラベルニアエンドを検出した時に表示します。	アイコン3~5
3		コマンドエラーを検出した時に表示します。	アイコン3~5
4		受信バッファニアフルを検出した時に表示します。	アイコン3~5
5		ヘッドが断線している時に表示します。	アイコン3~5

▲ディスプレイ画面の濃度調整

『通常モード』または『SEMBLモード』のときに、◀・▶キーを押すことで表示濃度を調整できます。



- ・左右16段階(全32段階)で表示濃度の調節が可能です。
- ・◀/▶キー1回の押下で1段階変化します。
- ・初期値設定(デフォルト設定モード)の設定の初期化でセンターに戻ります。「初期値設定(デフォルト設定モード)」を参照してください。→67ページ

詳しい操作

本プリンタの詳しい操作のしかたを説明します。

オンライン操作

オンライン状態

本プリンタが正常な状態で、印字可能な状態です。

本プリンタがオンライン状態のとき、つぎの操作ができます。

- 本プリンタに接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートさせます。
- [LINE]** キーを押して、オフライン状態に切り替えたり、印字を中断することができます。



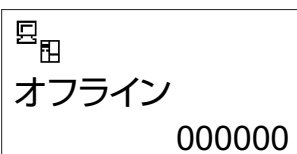
オフライン操作

オフライン状態

本プリンタが印字停止している状態です。

本プリンタがオフライン状態のとき、つぎの操作ができます。

- [LINE]** キーを押して、オンライン状態に切り替えます。
- [FEED]** キーを押して、用紙を1枚送ります。
- [ENTER]** キーを押して、各種プリンタ設定モードメニューに切り替えます。



印字データキャンセル操作

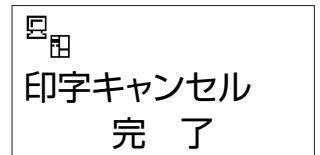
本プリンタが印字動作中または、**[LINE]** キーを押して印字を中断しているとき、既に受信済みの印字データを全てクリアする操作ができます。

- 印字動作中に **[LINE]** キーを押してオフライン状態に切り替えます。
- [CANCEL]** キーを押します。

- **[◀]・[▶]** キーでカーソルを移動し、**[する]**、**[しない]** を選択し、**[ENTER]** キーを押します。
 - ・**[する]** の場合、受信済みの印字データをクリアし、つぎの画面に変わります。
 - ・**[しない]** の場合、オフライン状態に戻ります。



印字データがクリアされると、ディスプレイにつきのように表示されます。
約3秒間表示後、オフライン状態に変わります。



エラーモード操作

「あれ? どうしたのかな?」で説明します。→79ページ

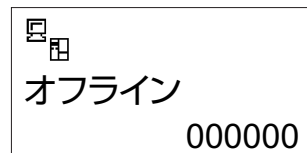
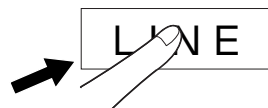
各種プリンタ設定モードメニュー操作

プリンタ設定、通信設定、SEMBLモード、拡張設定、カートリッジ操作、HEXダンプ印字の設定ができます。

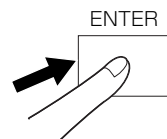
▲プリンタ設定モードメニュー画面の呼び出し

本プリンタの印字条件を設定するには、プリンタ設定モードメニューを呼び出します。つぎに、各印字条件の設定画面を呼び出します。

まず、**[LINE]**キーを押してオフライン状態にします。



つぎに、**[ENTER]**キーを押します。



ディスプレイに、つぎのように表示されます。



[CANCEL]キーまたは**[FUNCTION]**キーを押すとオフラインに戻ります。

プリンタ設定操作

プリンタ設定モードメニュー画面で、◀・▶・▲・▼キーを押して「プリンタ設定」を選択します。



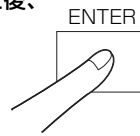
注意

設定の登録

各印字条件の設定を登録するためには、設定が終了後、

[ENTER] キーを1回押してください。

設定が登録され、つぎの設定画面が表示されます。



[ENTER] キーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。


[CANCEL] キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

[FUNCTION] キーを押すと、設定値を登録しないでプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

[ENTER] キーを押すとディスプレイに下記のように表示されます。

1 ボリューム設定値表示

操作パネルカバー内の調整用ボリューム設定値を表示します。



調整ボリューム
PITCH +0.00
OFFSET +0.00
DARKNESS 00

- [ENTER] キーを押すと、つぎの設定画面に変わります。

PITCH	印字位置調整値を表示
OFFSET	カット・ティアオフ停止位置調整値を表示
DARKNESS	印字濃度の設定値を表示



2 印字速度設定

印字の速度（速さ）を、SG408R、SG412Rは9段階、SG424Rは5段階に設定できます。
用紙または印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、速度を下げてください。

印字速度

04 IPS

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定範囲は02から10になります。
 - ・ 02IPS（インチ/秒）が一番遅く、10IPS（インチ/秒）が一番速くなります。（ただし、SG424Rは、06IPS（インチ/秒）が一番速くなります。）
- IPSはインチ/秒のことです。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、SG408Rは4IPS（インチ/秒）、SG412Rは4IPS（インチ/秒）、SG424Rは3IPS（インチ/秒）になります。



3 印字濃度設定

印字の濃度（濃さ）を、5段階で設定できます。

印字濃度

1 2 3 4 5


- 1～5までの数字は、印字の濃度（濃さ）を表します。
1が一番薄く、5が一番濃くなります。
- ◀・▶キーでカーソルを移動し、1～5を選択します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、3になります。



4 印字位置補正設定

印字位置補正とは、用紙に印字する位置を設定する操作です。
本プリンタには、最初から印字の基準となる位置（印字基準位置）が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置（基点）に印字するか設定します。
本プリンタでは印字基準位置から印字したい位置までの距離をdot単位で設定します。1 dotの長さは機種によって違います。SG408Rは1 dot=0.125mm、SG412Rは1 dot=0.083mm、SG424Rは1 dot=0.042mmです。

基点補正

V: \boxplus 0000 H: +0000 

- V：印字基準位置から、縦方向に何dot離れた位置を基点にして印字するかを設定します。
“+”と“-”は移動する方向です。
“+”：印字方向に対し後
“-”：印字方向に対し前
- H：印字基準位置から、横方向に何dot離れた位置を基点にして印字するかを設定します。
“+”と“-”は移動する方向です。
“+”：フレーム側（奥側）
“-”：カバー側（外側）

初期値は、縦印字位置補正は0dot、横印字位置補正は0dotになります。

注 意

- ヘッドの密度により設定可能な範囲が異なりますのでご注意ください。
- SG408R：V \pm 0000～1424dot H \pm 0000～0832dot
- SG412R：V \pm 0000～2136dot H \pm 0000～1248dot
- SG424R：V \pm 0000～4272dot H \pm 0000～2496dot

① V（縦方向）の移動方向の設定

「印字位置補正設定」画面がディスプレイに表示されると、カーソルが、V（縦方向）の“+”にあり、白黒反転しています。

- ▲・▼ キーを1回押すたびに“+”と“-”に表示が切り替わります。
- ◀ キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の数字に移動します。
- ▶ キーを押すと、カーソルがH（横方向）の数字に移動します。

基点補正

V: **+**0000 H: +0000

② V（縦方向）の移動dot数の設定

V（縦方向）の数字が白黒反転しています。

- ▲・▼ キーを1回押すたびに数字が1つ増減します。
- ◀ キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の“+”に移動します。
- ▶ キーを押すと、カーソルがH（横方向）の“+”に移動します。

基点補正

V: +**0000** H: +0000

③ H（横方向）の移動方向の設定

H（横方向）の“+”が白黒反転しています。

- ▲・▼ キーを1回押すたびに“+”と“-”に表示が切り替わります。
- ◀ キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の数字に移動します。
- ▶ キーを押すと、カーソルがH（横方向）の数字に移動します。

基点補正

V: +0000 H: **+**0000

④ H（横方向）の移動dot数の設定

H（横方向）の数字が白黒反転しています。

- ▲・▼ キーを1回押すたびに数字が1つ増減します。
- ◀ キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の“+”に移動します。
- ▶ キーを押すと、カーソルがH（横方向）の“+”に移動します。
- [ENTER] キーを押すと、設定値が登録され、つぎの設定画面に変わります。

基点補正

V: +0000 H: +**0000**

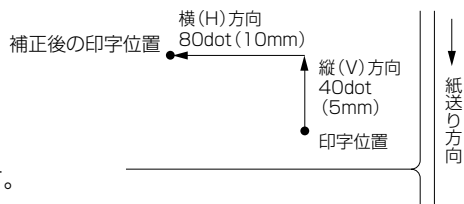
【印字位置補正の設定例】

SG408Rで印字位置から

縦（V）方向に+40dot（5mm）

横（H）方向に+80dot（10mm）

離れた位置を補正後の印字位置とする設定例を示します。

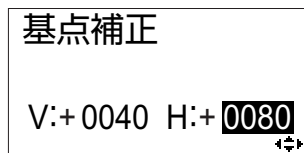
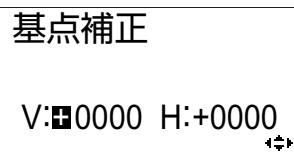


ディスプレイに、印字位置補正設定画面が表示されていることを確認してください。

◀・▶・▲・▼キーで数字を設定し、[ENTER]キーで登録を行い、次の画面表示にしてください。

[ENTER]キーを1回押します。

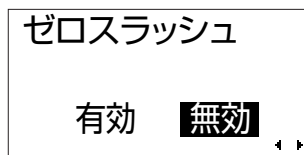
ディスプレイの画面は、ゼロスラッシュ切替設定画面に変わります。



5 ゼロスラッシュ切替設定

ゼロ（漢字は除く）を“0”または、“0”に設定できます。

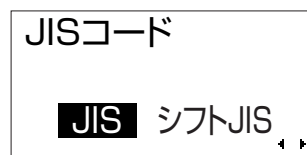
- ◀・▶キーでカーソルを移動し、[有効]、[無効]を設定します。
 - ・ [有効]は、“0”になります。
 - ・ [無効]は、“0”になります。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。



6 JISコード切替設定



取り扱う漢字コードをJISコード、シフトJISコードに設定できます。


- ◀・▶キーでカーソルを移動し、[JIS]、[シフトJIS]を選択します。
 - ・ [JIS]は、JISコード指定になります。
 - ・ [シフトJIS]は、シフトJISコード指定になります。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、JISになります。



7 漢字書体切替設定

印字する漢字の書体を明朝体、ゴシック体に設定できます。

- ・キーでカーソルを移動し、 明朝 ゴシック を選択します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、ゴシックになります。





漢字書体


明朝 ゴシック

8 プロポーショナルピッチ設定

プロポーショナルピッチ処理（各文字ごとの横幅で印字するかまたは文字幅を固定で印字するか）を設定することができます。

対象フォントは、×21～24となります。

- ・キーでカーソルを移動し、 有効 無効 を選択します。
 - ・ 有効 は、各文字ごとの横幅で印字します。
 - ・ 無効 は、文字幅固定で印字します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、ディスプレイの画面は、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
- 初期値は、無効になります。



プロポーショナルピッチ

有効 無効

これでプリンタ設定操作による、プリンタ設定が終了しました。プリンタ設定を終了するには、 [FUNCTION] か [CANCEL] キーを押してください。

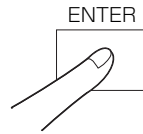
通信設定操作

プリンタ設定モードメニュー画面で、◀・▶・▲・▼ キーを押して「通信設定」を選択します。

注意

設定の登録

各通信設定を登録するためには、設定が終了後、**[ENTER]**キーを1回押してください。
設定が登録され、つぎの設定画面が表示されます。



[ENTER]キーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。
[CANCEL]キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。
[FUNCTION]キーを押すと、設定値を登録しないでプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

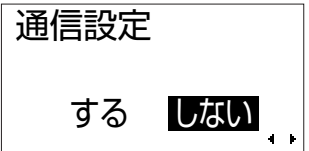
[ENTER]キーを押すとディスプレイにつぎのように表示されます。



1 通信設定の変更確認

各種インタフェースの通信設定を変更するか、しないを選択できます。

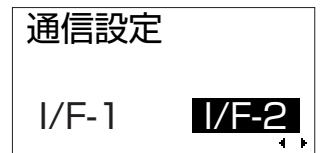
- ◀・▶キーでカーソルを移動し、**[する]**、**[しない]**を選択します。
 - ・ **[する]**は、通信ボードスロット選択画面に変わります。
 - ・ **[しない]**は、プリンタ設定モードメニュー画面に変わります。
- **[ENTER]**キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、**しない**になります。



2 通信ボードスロット選択

通信設定を変更するインタフェースボードのスロットを選択できます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、**[I/F-1]**、**[I/F-2]**を選択します。
 - ・ **[I/F-1]**は、ミニLANのインタフェースボードです。
 - ・ **[I/F-2]**は、ミニLAN以外のインタフェースボードです。
- **[ENTER]**キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、**I/F-2**になります。



3 各種I/Fボード設定

装着されているインタフェースボードの通信設定を行います。

- ・ 平行インタフェースボード (IEEE 1284) →46ページ
- ・ RS-232Cインタフェースボード →48ページ
- ・ USBインタフェースボード →51ページ
- ・ LAN/無線LAN/ミニLANインタフェースボード→52ページ

- 装着されているインタフェースボードにより設定内容が異なります。
- 各インタフェースボードの設定後、データ入力ポート設定画面に変わります。



4 データ入力ポート設定

印字データを受信するポートを設定します。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、**I/F-1**、**I/F-2** を選択します。
 - ・ **I/F-1** は、ミニLANのインタフェースボードから印字データを受信するポートです。
 - ・ **I/F-2** は、ミニLAN以外のインタフェースボードから印字データを受信するポートです。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、プリンタ設定モードメニュー画面に変わります。
- 初期値は、I/F-2になります。

データ入力ポート

I/F-1

I/F-2

本設定と異なるポートから印字データを受信した場合は、印字しません。

各インタフェースボードの設定画面について

【パラレルインタフェースボード (IEEE1284) の場合】

1 通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、**STATUS4**、**STATUS5** を選択します。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS5になります。
- **STATUS4** を選択したときは、受信バッファ設定画面に変わります。
- **STATUS5** を選択したときのみ、アイテムNo.チェック設定、BCCチェック設定画面が表示されます。

通信プロトコル

STATUS4

STATUS5



2 アイテムNo.チェック設定

アイテム番号チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで**STATUS5**を設定したときのみ表示されます。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、**有効**、**無効** を選択します。
 - ・ **有効** は、アイテム番号チェック機能を有効にします。
 - ・ **無効** は、アイテム番号チェック機能を無効にします。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。

アイテムNo.チェック

有効

無効



3 BCCチェック設定

BCCチェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで**STATUS5**を設定したときのみ表示されます。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、**有効**、**無効** を選択します。
 - ・ **有効** は、BCCチェック機能を有効にします。
 - ・ **無効** は、BCCチェック機能を無効にします。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、データ入力ポート設定画面 (46ページ) に変わります。
- 初期値は、無効になります。

BCCチェック

有効

無効

4 受信バッファ設定

受信バッファタイプを設定します。

本画面は通信プロトコルで **[STATUS4]** を設定したときのみ表示されます。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、**[マルチ]**、**[1アイテム]**を選択します。
 - ・ **[マルチ]** は、マルチ受信です。
 - ・ **[1アイテム]** は、1アイテム受信です。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、マルチになります。
- **[1アイテム]** を選択したときのみ、IEEE1284通信設定画面が表示されます。
- **[マルチ]** を選択した場合、データ入力ポート設定画面（46ページ）に変わります。

受信バッファ

マルチ 1アイテム

5 IEEE1284通信設定

IEEE1284通信のACK信号幅を設定します。

本画面は受信バッファで **[1アイテム]** を設定したときのみ表示されます。

- **▲**・**▼**キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定できる範囲は00.5から12.0までです。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、データ入力ポート設定画面（46ページ）に変わります。
- 初期値は、00.5 μ sになります。

IEEE1284
ACK信号幅

00.5 μ s

【RS-232Cインタフェースボードの場合】

1 RS-232C優先設定

RS-232C通信設定をインタフェースボードの設定を優先するか、操作パネルでの設定を優先するかを設定します。

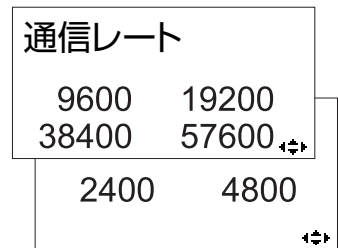
- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、**[DIPSW]**、**[LCD]** を選択します。
 - ・ **[DIPSW]** は、インタフェースボードの設定を優先します。
 - ・ **[LCD]** は、操作パネルでの設定を優先します。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、LCDになります。
- **[LCD]** を選択したときのみ、通信レート設定画面が表示されます。
- **[DIPSW]** を選択した場合、データ入力ポート設定画面(46ページ)に変わります。(インタフェースボードの設定は70ページ参照)



2 通信レート設定

RS-232Cのボーレートを設定します。
本画面はRS-232C優先設定で**[LCD]**を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶・▲・▼ キーでカーソルを移動し、通信レートを選択します。
- 下記のボーレートの中から選択可能です。
 - ・ 9600bps
 - ・ 19200bps
 - ・ 38400bps
 - ・ 57600bps
 - ・ 2400bps
 - ・ 4800bps
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、19200bpsになります。



3 パリティビット設定

RS-232Cのパリティビットを設定します。
本画面はRS-232C優先設定で**[LCD]**を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、パリティビットを選択します。
- 下記のパリティビットの中から選択可能です。
 - ・ NONE
 - ・ ODD
 - ・ EVEN
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、NONEになります。



4 ストップビット設定

RS-232Cのストップビットを設定します。
本画面はRS-232C優先設定で**[LCD]**を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、**[1BIT]**、**[2BIT]** を選択します。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、1BITになります。



5 データ長設定

RS-232Cのデータ長を設定します。

本画面はRS-232C優先設定で「LCD」を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、「7BIT」、「8BIT」を選択します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、8BITになります。

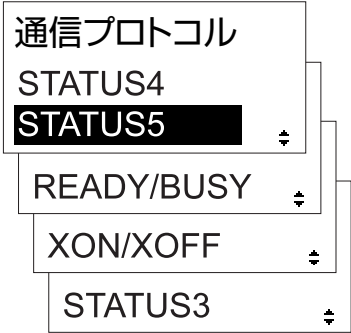


6 通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

本画面はRS-232C優先設定で「LCD」を設定したときのみ表示されます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、通信プロトコルを選択します。
- 下記の通信プロトコルの中から選択可能です。
 - ・ STATUS4
 - ・ STATUS5
 - ・ READY/BUSY
 - ・ XON/XOFF
 - ・ STATUS3
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS5になります。
- [STATUS3] または [STATUS4] を選択したときは、データ入力ポート設定画面（46ページ）に変わります。
- [STATUS5] を選択したときのみ、アイテムNo.チェック設定画面とBCCチェック設定画面が表示されます。
- [READY/BUSY] または [XON/XOFF] を選択したときは、受信バッファ設定画面（50ページ）に変わります。

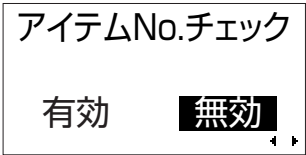


7 アイテムNo.チェック設定

アイテム番号チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで「STATUS5」を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、「有効」、「無効」を選択します。
 - ・ 「有効」は、アイテム番号チェック機能を有効にします。
 - ・ 「無効」は、アイテム番号チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。




8 BCCチェック設定

BCCチェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで「STATUS5」を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、「有効」、「無効」を選択します。
 - ・ 「有効」は、BCCチェック機能を有効にします。
 - ・ 「無効」は、BCCチェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、データ入力ポート設定画面（46ページ）に変わります。
- 初期値は、無効になります。



9 受信バッファ設定

受信バッファタイプを設定します。

この画面は通信プロトコルで `READY/BUSY` または、`XON/XOFF` を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、`マルチ`、`1アイテム` を選択します。
 - ・ `マルチ` は、マルチ受信です。
 - ・ `1アイテム` は、1アイテム受信です。
- `ENTER` キーを押すと設定が登録され、データ入力ポート設定画面（46ページ）に変わります。
- 初期値は、マルチになります。

受信バッファ

マルチ 1アイテム

【USBインタフェースボードの場合】

1 通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、**[STATUS4]**、**[STATUS5]**を選択します。
- **[ENTER]**キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS5になります。
- **[STATUS5]**を選択したときのみ、アイテムNo.チェック設定、BCCチェック設定画面が表示されます。
- **[STATUS4]**を選択した場合、データ入力ポート設定画面(46ページ)に変わります。

通信プロトコル
STATUS4
STATUS5 ↓

2 アイテムNo.チェック設定

アイテム番号チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで **[STATUS5]** を設定したときのみ表示されます。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、**[有効]**、**[無効]**を選択します。
 - ・ **[有効]**は、アイテム番号チェック機能を有効にします。
 - ・ **[無効]**は、アイテム番号チェック機能を無効にします。
- **[ENTER]**キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。

アイテムNo.チェック
有効 **無効** ↓

3 BCCチェック設定

BCCチェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで **[STATUS5]** を設定したときのみ表示されます。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、**[有効]**、**[無効]**を選択します。
 - ・ **[有効]**は、BCCチェック機能を有効にします。
 - ・ **[無効]**は、BCCチェック機能を無効にします。
- **[ENTER]**キーを押すと設定が登録され、データ入力ポート設定画面(46ページ)に変わります。
- 初期値は、無効になります。

BCCチェック
有効 **無効** ↓

【LAN／無線LAN／ミニLANインタフェースボードの場合】

1 LAN優先設定

LAN通信設定をインタフェースボードの設定を優先するか、操作パネルの設定を優先するかを設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、**ボード**、**LCD**を選択します。
 - ・ **ボード**は、インタフェースボードの設定を優先します。
 - ・ **LCD**は、操作パネルでの設定を優先します。
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、**ボード**になります。
- **LCD**を選択したときのみ、IPアドレス設定画面が表示されます。
- **ボード**を選択した場合、データ入力ポート設定画面(46ページ)に変わります。(インタフェースボードの設定は71ページから73ページ参照)

LAN
優先設定
ボード LCD

2 IPアドレス設定

IPアドレスを設定します。

本画面はLAN優先設定で**LCD**を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定できる範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、0.0.0.0になります。

IPアドレス
0. 0. 0. 0

3 サブネットマスク設定

インタフェースボードのサブネットマスクを設定します。

本画面はLAN優先設定で**LCD**を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定できる範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- **ENTER**キーを押すと設定値が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、0.0.0.0になります。

サブネットマスク
0. 0. 0. 0

4 ゲートウェイアドレス設定

インタフェースボードのゲートウェイアドレスを設定します。

本画面はLAN優先設定で**LCD**を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定できる範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- **ENTER**キーを押すと設定値が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 無線LANインタフェースの場合、通信モード設定画面(54ページ)に変わります。
- 初期値は、0.0.0.0になります。

ゲートウェイアドレス
0. 0. 0. 0

5 LANポート番号1設定

LANポート番号1を設定します。

本画面はミニLANインタフェースボードを装着し、LAN優先設定で[LCD]を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定できる範囲は、00000から65535までです。
 - ・ ポート番号2、3と同一のポート番号の設定はできません。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、01024になります。

ポート番号1

01024

6 LANポート番号2設定

LANポート番号2を設定します。

本画面はミニLANインタフェースボードを装着し、LAN優先設定で[LCD]を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定できる範囲は、00000から65535までです。
 - ・ ポート番号1、3と同一のポート番号の設定はできません。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、01025になります。

ポート番号2

01025

7 LANポート番号3設定

LANポート番号3を設定します。

本画面はミニLANインタフェースボードを装着し、LAN優先設定で[LCD]を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定できる範囲は、00000から65535までです。
 - ・ ポート番号1、2と同一のポート番号の設定はできません。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、09100になります。

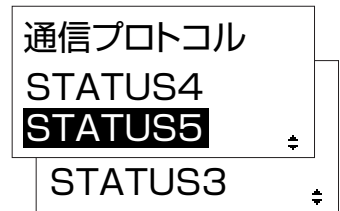
ポート番号3

09100

8 通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。
本画面はLAN優先設定で[LCD]を設定したときのみ表示されます。

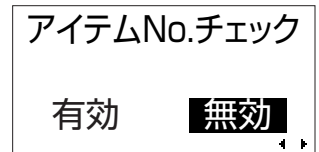
- ▲・▼キーでカーソルを移動し、通信プロトコルを選択します。
- 下記の通信プロトコルの中から選択可能です。
 - ・ STATUS3
 - ・ STATUS4
 - ・ STATUS5
- 初期値は、STATUS5になります。
- [STATUS5] を選択したときのみ、アイテムNo.チェック設定とBCCチェック設定画面が表示されます。
- [STATUS4] を選択したときのみ、プリンタステータス返送タイミング設定が表示されます。
- [STATUS3] を選択したときはデータ入力ポート設定画面(46ページ)に変わります。



9 アイテムNo.チェック設定

アイテム番号チェック機能を設定します。
本画面は通信プロトコルで[STATUS5]を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、[有効]、[無効] を選択します。
 - ・ [有効] は、アイテム番号チェック機能を有効にします。
 - ・ [無効] は、アイテム番号チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。



10 BCCチェック設定

BCCチェック機能を設定します。
本画面は通信プロトコルで[STATUS5]を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、[有効]、[無効] を選択します。
 - ・ [有効] は、BCCチェック機能を有効にします。
 - ・ [無効] は、BCCチェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、データ入力ポート設定画面(46ページ)に変わります。
- 初期値は、無効になります。



11 通信モード設定

無線LANの通信モードを設定します。
本画面は無線LANインタフェースボードを装着し、LAN優先設定で[LCD]を設定したときのみ表示されます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、通信モードを選択します。
- 下記の通信モードの中から選択可能です。
 - ・ 802.11 Ad Hoc
 - ・ Ad Hoc
 - ・ Infrastructure
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、802.11 Ad Hocになります。



12 SSID設定

無線LANのSSIDを設定します。
本画面は無線LANインタフェースボードを装着し、LAN優先設定で[LCD]を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
- 英数字で最大32桁までの範囲で設定します。
無線SSID設定で英字は英大文字のみ設定できます。英小文字、記号の設定はできません。英小文字、記号を設定するときは添付しているアクセサリCD-ROMのネットワークユーティリティを使用してください。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、全てスペースになります。

SSID

0123456789ABCDEF

13 チャンネル設定

無線LANのチャンネルを設定します。
本画面は無線LANインタフェースボードを装着し、LAN優先設定で[LCD]を設定したときのみ表示されます。

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
- 設定できる範囲は01から14までです。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、通信プロトコル設定画面(54ページ)に変わります。
- 初期値は、01になります。

チャンネル

01

14 プリントステータス返送タイミング設定

ステータス情報をホストに返送するタイミングを設定します。
この画面は、通信プロトコルで[STATUS4]を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、[ENQ]、[周期]を選択します。
- [ENQ]は、ホストPCからステータス要求(ENQ)受信により返送します。
- [周期]は、500m秒間隔でプリンタよりホストPCにステータスを返送します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、データ入力ポート設定画面(46ページ)に変わります。
- 初期値は、ENQになります。

プリントステータス
返送タイミング

ENQ 周期

通信設定操作では、認識方式やWEPキー等の無線LANインタフェースの設定はできません。
添付しているアクセサリCD-ROMのネットワークユーティリティを使用して設定してください。

カートリッジ操作



プリンタ設定モードメニュー画面で、・・・ キーを押して「カートリッジ操作」を選択します。

[ENTER]キーを押すと操作パネルがつぎのように表示されます。



1 カートリッジフォーマット設定

メモ리카ートリッジの登録領域を初期化します。



- ・ キーでカーソルを移動し、、 を選択し、[ENTER]キーを押します。
 - ・ の場合、カートリッジフォーマット開始確認画面に変わります。
 - ・ の場合、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

カートリッジ初期化

する

2 カートリッジフォーマット開始確認設定

メモ리카ートリッジのフォーマット開始確認画面です。
フォーマットを開始すると、お客様が登録されたデータは全てクリアされます。

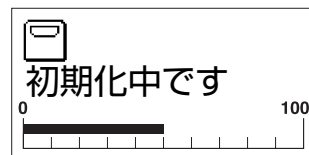
- ・ キーでカーソルを移動し、、 を選択し、[ENTER]キーを押します。
 - ・ は、フォーマットを開始してカートリッジフォーマット中画面に変わります。
 - ・ は、カートリッジフォーマット画面に戻ります。

初期化しますか？

はい

3 カートリッジフォーマット中画面

メモ리카ートリッジの登録領域初期化中の画面です。
初期化終了後、つぎの画面に変わります。



4 カートリッジ初期化完了画面

メモ리카ートリッジの初期化が完了した際に表示します。

[ENTER]キーを押すとプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

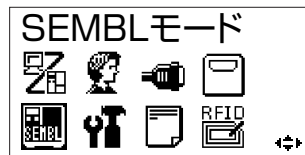
カートリッジを
初期化しました
PRESS ENTER KEY

SEMBLモード操作

SEMBL (Sato EMbedded Basic Language) とは、サトーの組み込み式ベーシック言語の呼称であり、本機能を使用することにより、お客様個別の運用が実現できる機能です。詳細は、各担当営業にお問い合わせください。

プリンタ設定モードメニュー画面で◀・▶・▲・▼キーを押して「SEMBLモード」を選択します。

[ENTER]キーを押すと操作パネルがつぎのように表示されます。



1 起動プログラム設定

SEMBLモードを起動した際に実行するプログラムを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、起動プログラムを選択します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
- [NONE]は、起動プログラムを指定しません。
- [XXXXXXXX.BAS]は、起動プログラムを指定します。
XXXXXXXX.BASには、メモリカートリッジに登録されているプログラム名を表示します。
- 初期値は、NONEになります。
- [CANCEL]キーまたは[FUNCTION]キーを押すと設定を登録せずにプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

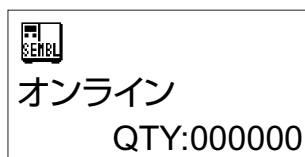


登録済みのプログラム名を表示

2 SEMBLモード状態画面

SEMBLモード状態の画面です。

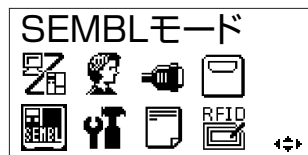
下段の数字は残発行枚数を表示します。



[LINE]キーを押すと、オフライン状態に変わります。



[ENTER]キーを押すとプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。



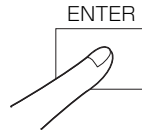
拡張設定操作

プリンタ設定モードメニュー画面で ◀・▶・▲・▼ キーを押して「拡張設定」を選択します。

注意

設定の登録

各拡張機能を登録するためには、設定が終了後、**[ENTER]**キーを1回押してください。
設定が登録され、つぎの設定画面が表示されます。



[ENTER]キーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。
[CANCEL]キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。
[FUNCTION]キーを押すと、設定値を登録しないでプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

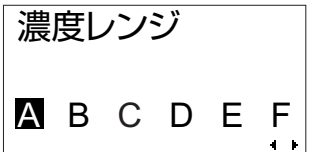
[ENTER]キーを押すとディスプレイがつぎのように表示されます。



1 濃度レンジ設定

印字濃度レンジを設定します。
基本的には調整不要です。

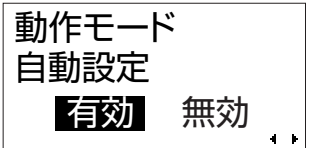
- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、A~Fを選択します。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、Aになります。



2 動作モード自動設定

オプションユニットの装着状態を認識して、動作モードを自動で切り替える機能を設定します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、**[有効]**、**[無効]**を選択します。
 - ・**[有効]**は、自動設定が有効になります。
 - ・**[無効]**は、自動設定が無効になります。
- 各種オプションユニットを検出した場合、動作モードを下記のように切り替えます。
 - ・カッタユニットはカッタ動作
- 初期値は、有効になります。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。

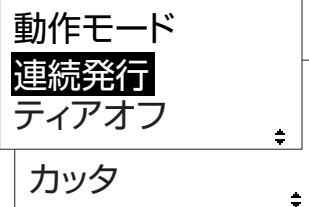


オプションユニットを接続した状態で他の動作モードに設定する場合、本設定は“無効”にしてください。

3 動作モード設定

動作モードを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、動作モードを選択します。
- 下記の動作モードの中から選択可能です。
 - ・連続発行
 - ・ティアオフ
 - ・カット
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、連続発行になります。
- [カット]を選択したときのみ、バックフィード動作設定画面が表示されます。

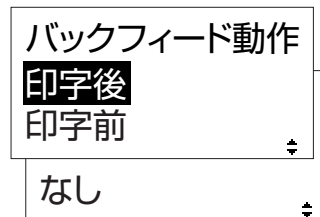


カットについてはオプションの装着状態により表示しない場合があります。

4 バックフィード動作設定

バックフィード動作を設定します。

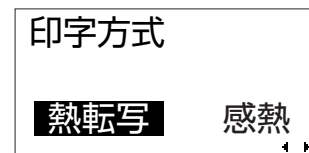
- ▲・▼キーでカーソルを移動し、バックフィード動作設定を選択します。
- 下記のバックフィード動作の中から選択可能です。
 - ・[印字後]は、動作1（印字後バックフィード）に設定します。
 - ・[印字前]は、動作2（印字前バックフィード）に設定します。
 - ・[なし]は、バックフィードなしに設定します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、印字後になります。



5 印字方式設定

印字方式の設定画面です。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、[熱転写]、[感熱]を選択します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、熱転写になります。



6 ピッチセンサ設定

用紙センサ機能の有効／無効の設定をします。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、**[有効]**、**[無効]**を選択します。
 - ・ **[有効]** は、ピッチセンサ(用紙センサ)機能が有効になります。
 - ・ **[無効]** は、ピッチセンサ(用紙センサ)機能が無効になります。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- **[有効]** を選択したときのみ、用紙センサ種設定画面が表示されます。
- **[無効]** を選択した場合、ヘッドチェック設定画面に変わります。
- 初期値は、有効になります。

ピッチセンサ

[有効] 無効

7 用紙センサ種設定

使用する用紙センサ種を設定します。

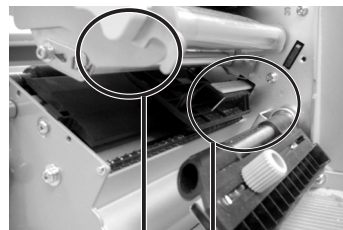
本画面はピッチセンサ(用紙センサ)有効のときのみ表示されます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、用紙センサ種を選択します。
- 下記の用紙センサ種の中から選択可能です。
 - ・ **[反射1]** は、反射センサ1に設定します。
 - ・ **[透過]** は、透過センサに設定します。
 - ・ **[反射2]** は、反射センサ2に設定します。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、反射1になります。

反射センサ2は、用紙ピッチの短いラベルで使用します。
通常は、反射センサ1を設定してください。

センサタイプ

[反射1]
[透過]



反射センサ2

反射センサ1
透過センサ

8 印字飛びチェック設定

印字飛び機能の有効／無効の設定をします。

本画面はピッチセンサ(用紙センサ)有効のときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、**[有効]**、**[無効]**を選択します。
 - ・ **[有効]** は、印字飛びチェック機能を有効にします。
 - ・ **[無効]** は、印字飛びチェック機能を無効にします。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。

印字飛びチェック

有効 **[無効]**

9 ヘッドチェック設定

ヘッドチェック機能の有効／無効の設定をします。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、**[有効]**、**[無効]**を選択します。
 - ・ **[有効]** は、ヘッドチェック機能を有効にします。
 - ・ **[無効]** は、ヘッドチェック機能を無効にします。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、有効になります。
- **[有効]** を選択したときのみ、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。
- **[無効]** を選択したときは、外部信号設定画面(61ページ)に変わります。

ヘッドチェック

[有効] 無効

10 ヘッドチェック範囲設定

ヘッドチェックを行う範囲を設定します。

本画面は、ヘッドチェック設定で「有効」を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、「通常」、「バーコード」を選択します。
 - ・「通常」は、印字領域をチェックします。
 - ・「バーコード」は、バーコード印字領域のみをチェックします。バーコード印字領域に設定し、バーコードをグラフィックデータで印字した場合、ヘッドチェックされません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、通常になります。

ヘッドチェック

通常 バーコード

ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。

(印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生ずることがあります。)

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキナ読取りを行って確認してください。

〈ヘッドエラー発生時の対処方法〉

①ヘッドチェック範囲設定が通常の場合

- [FEED] キーを5秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。
 - ・「通常」を選択すると、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。
 - ・「バーコード」を選択すると、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切り替えて発行を再開します。
- [LINE] キーと[FEED] キーを同時に5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

②ヘッドチェック範囲設定がバーコードの場合

- [LINE] キーと[FEED] キーを同時に5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

11 外部信号設定

外部信号の入出力有無を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、「有効」、「無効」を選択します。
 - ・「有効」は、入出力を許可します。
 - ・「無効」は、入出力を禁止します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。
- 「有効」を選択したときのみ、外部信号出力タイプ設定が表示されます。
- 「無効」を選択したときは、オートオンライン設定画面(62ページ)に変わります。

外部信号

有効 無効

12 外部信号出力タイプ設定

PREND信号の出力タイプを設定します。

本画面は、外部信号設定で、**[有効]**を設定したときのみ表示されます。

- **◀**・**▶**・**▲**・**▼** キーでカーソルを移動し、外部信号出力タイプを選択します。
- 下記の出力動作モードから選択可能です。
・TYPE1 ・TYPE2 ・TYPE3 ・TYPE4
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、TYPE4になります。

詳細は、添付されていますアクセサリCD-ROMのSBPLプログラミングガイドを参照してください。

外部信号

TYPE1 TYPE2
TYPE3 **TYPE4** 

13 再発行信号設定

外部信号入力時の再発行機能を設定します。

- **◀**・**▶** キーでカーソルを移動し、**[有効]**、**[無効]**を選択します。
 - ・**[有効]** は、再発行を許可します。
 - ・**[無効]** は、再発行を禁止します。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。

再発行信号

有効 **無効** 

14 オートオンライン設定

電源投入時のプリンタの状態を設定します。

- **◀**・**▶** キーでカーソルを移動し、**[する]**、**[しない]**を選択します。
 - ・**[する]** は、電源投入時にオンライン状態で起動します。
 - ・**[しない]** は、電源投入時にオフライン状態で起動します。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、するになります。

オンライン起動

する しない 

15 初期フィード設定

起動後のオンライン時に自動で用紙フィードを行います。

- **◀**・**▶** キーでカーソルを移動し、**[する]**、**[しない]**を選択します。
 - ・**[する]** は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行います。
 - ・**[しない]** は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行いません。
但し、つぎのオンラインフィード設定画面で、**[する]** に設定した場合、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行います。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、しないになります。

起動時 紙送り

する **しない** 

16 オンラインフィード設定

エラー復旧後、または電源投入後、オンライン状態に遷移した際、自動で用紙フィードを行います。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、**する**、**しない**を選択します。
 - ・ **する** は、オンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行います。
 - ・ **しない** は、オンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行いません。
但し、前の初期フィード設定画面で、**する** に設定した場合、電源投入時のオンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行います。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、**しない**になります。

エラー後 紙送り

する **しない**

17 言語選択の設定

操作パネルの表示言語を設定します。

- ▲・▼ キーでカーソルを移動し、**[ENGLISH]**、**[日本語]**を選択します。
 - ・ **[ENGLISH]** は、ディスプレイの表示が英語になります。
 - ・ **[日本語]** は、ディスプレイの表示が日本語になります。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、日本語になります。

言語設定

ENGLISH

日本語

18 プロトコルコード設定

プロトコルコードのコード設定をします。

- ▲・▼ キーでカーソルを移動し、**[STANDARD]**、**[NON-STANDARD]**を選択します。
 - ・ **[STANDARD]** の場合、スタンダードコードとなります。
 - ・ **[NON-STANDARD]** の場合、ノンスタンダードコードとなります。
- **FEED** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、STANDARDになります。

プロトコルコード設定

STANDARD

NON-STANDARD

19 SEMBLモード自動起動設定

電源投入時にSEMBLモードを自動起動するかどうかを設定します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、**する**、**しない**を選択します。
 - ・ **する** は、電源投入時にSEMBLモードを起動します。
 - ・ **しない** は、通常起動します。(SEMBLモードを自動起動しません。)
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、**しない**になります。
- **しない** を選択した場合、プリンタ設定モードメニュー画面に変わります。

SEMBLモード

自動起動

する **しない**



20 SEMBLモード自動起動プログラム設定

電源投入時にSEMBLモードを自動起動した際に実行するプログラムを設定します。

本画面はSEMBLモード自動起動を [する] に設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、[NONE]、[XXXXXXXX.BAS] を選択します。
 - ・ [NONE]は、起動プログラムを指定しません。
 - ・ [XXXXXXXX.BAS]は、起動プログラムを指定します。XXXXXXXX.BASには、メモリカートリッジに登録されているプログラム名を表示します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、プリンタモードメニュー画面に変わります。
- 初期値は、NONEになります。



ディスプレイ画面はプリンタ設定モード選択画面に戻ります。これで拡張設定操作によるプリンタ設定を終了しました。

HEXダンプ印字操作

プリンタ設定モードメニュー画面から ◀・▶・▲・▼ キーを押して「HEXダンプ印字」に切り替えます。

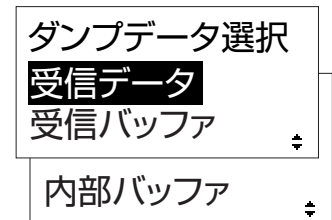
[ENTER]キーを押すとディスプレイがつぎのように表示されます。



1 ダンプデータ選択設定

ダンプ印字するデータを選択します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ダンプデータを選択します。
- 下記のダンプデータから選択可能です。
 - ・ 受信データ (受信したデータをダンプ印字します。)
 - ・ 受信バッファ (受信済みの印字データ (1アイテム分) をダンプ印字します。)
 - ・ 内部バッファ (内部バッファの設定値をダンプ印字します。)
- [ENTER] キーを押すとつぎの設定画面に変わります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すとプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。



▲ 受信データが無い場合は“受信バッファ”は選択できません。

HEXダンプ印字状態の画面を示しています。

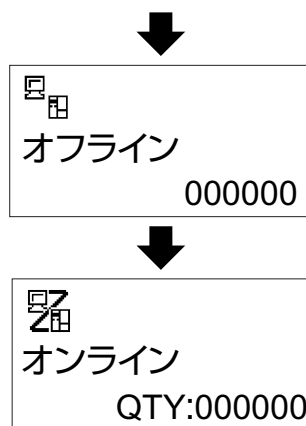
HEXダンプ印字後、**[LINE]**キーを押し、オフライン機能にし、**[ENTER]**キーを押すとプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。



【受信バッファおよび内部バッファの場合】

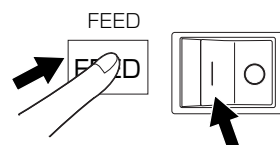
[ENTER]キーを押すとHEXダンプ印字を行います。

発行後、自動でオンライン状態に戻ります。



テスト印字モード操作

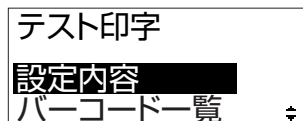
テスト印字を試みましょう。
プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。
[FEED]キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイにつきのように表示されます。



1 テスト印字パターン選択

テスト印字パターンを選択します。

- **[▲]**・**[▼]**キーでカーソルを移動し、**[ENTER]**キーで決定します。
- 下の表のテスト印字の発行を行います。
- **[ENTER]**キーで設定値を保存して次の画面に変わります。




テスト印字パターン	印字内容	選択後の移動先
[設定内容]	本プリンタ設定内容を印字します。	テスト印字 サイズ選択①
[バーコード一覧]	本プリンタに搭載しているバーコードを印字します。	
[ヘッドチェック]	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。	
[メモリ状態]	本プリンタに搭載しているメモ리카ートリッジ内容を印字します。	テスト印字 発行
[フォント一覧]	本プリンタに搭載しているフォント内容を印字します。	テスト印字 サイズ選択②
[工場調整パターン]	工場テスト印字を行います。	

2 テスト印字サイズ選択①

テスト印字の用紙サイズ幅を選択します。

本画面はテスト印字項目で「設定内容」、「バーコード一覧」、「ヘッドチェック」を設定したときのみ表示されます。

- ▲・▼キーでテスト印字サイズを設定します。
- 入力範囲は“03”～“10” cmです。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、テスト印字発行画面に変わります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すとテスト印字パターン選択画面に戻ります。



テスト印字サイズ


10cm

3 テスト印字サイズ選択②

テスト印字の用紙サイズ幅を選択します。

本画面はテスト印字項目で「工場調整パターン」を設定したときのみ表示されます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、「大きい」、「小さい」を選択します。
 - ・「大きい」は、10cm幅のラベルサイズで印字します。
 - ・「小さい」は、4cm幅のラベルサイズで印字します。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すとテスト印字パターン選択画面に戻ります。



テスト印字サイズ

大きい 小さい


4 テスト印字発行

テスト印字を開始します。

- [ENTER] キーを押すと、テスト印字の発行を開始します。
- テスト印字発行中に [ENTER] キーを押すと発行を一時停止します。
再度 [ENTER] キーを押すと発行を再スタートします。



テスト印字
ENTER⇒発行／停止

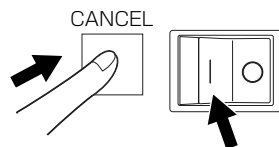


テスト印字モードを終了するにはプリンタの電源を切ってください。

❗ ご注意！

通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

初期値とは、本プリンタがはじめから記憶している設定値です。
この初期値設定をおこなうと、いままでの印字条件の設定値を本プリンタが記憶している設定値に戻します。
プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。
[CANCEL] キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイにつぎのように表示されます。



1 初期化項目選択

初期化するデータを選択します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、**プリンタ設定**、**プロトコルコード**を設定します。
 - ・ **プリンタ設定** は、プリンタ設定を初期化します。
 - ・ **プロトコルコード** は、プロトコルコードを初期化します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。

設定初期化
プリンタ設定
プロトコルコード ↓

2 設定の初期化

【プリンタ設定の場合】

プリンタの設定を初期化します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、**はい**、**いいえ** を選択し、[ENTER] キーを押します。
 - ・ **はい** は、プリンタ設定情報を初期化し、次の画面に変わります。
 - ・ **いいえ** は、初期化項目選択画面に戻ります。
- 初期値は、いいえになります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すと初期化項目選択画面に戻ります。

プリンタ設定を
初期化しますか？
はい **いいえ** ↵

【プロトコルコードの場合】

プロトコルコードを初期化します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、**はい**、**いいえ** を選択し、**ENTER** キーを押します。
 - ・ **はい** は、プロトコルコードを初期化し、次の画面に変わります。
 - ・ **いいえ** は、初期化項目選択画面に戻ります。
- 初期値は、**いいえ** になります。
- **ENTER** キーで設定値を保存して次の画面に変わります。
- **CANCEL** キーまたは **FUNCTION** キーを押すと初期化項目選択画面に戻ります。

プロトコルコードを
初期化しますか？

はい **いいえ**

3 初期化完了画面

プリンタ設定／プロトコルコード初期化完了画面です。
デフォルト設定モードを終了するにはプリンタの電源を切ってください。

印字速度設定・印字濃度設定・印字位置補正設定・ゼロスラッシュ切替設定・JISコード切替設定・漢字書体切替設定・プロポーショナルピッチ設定、オートオンライン設定、初期フィード設定、オンラインフィード設定の各設定値が次の初期値にもどります。

設定情報を
初期化しました
電源再投入

項 目	初期値
印字速度設定	04 (SG424R は「03」になります)
印字濃度設定	3
印字位置補正設定	V:+0000 H:+0000
ゼロスラッシュ切替設定	無効
JISコード切替設定	JIS
漢字書体切替設定	ゴシック
プロポーショナルピッチ設定	無効
オートオンライン設定	する
初期フィード設定	しない
オンラインフィード設定	しない

RFIDユーザーモード

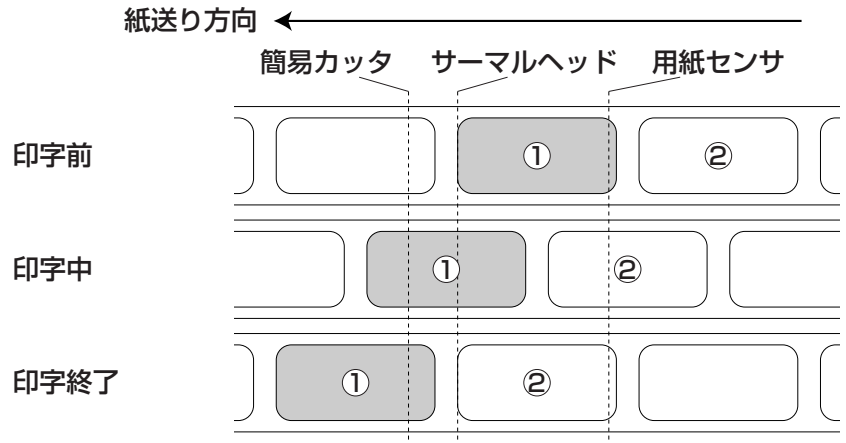
RFIDへの対応は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。

連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、オプション（カッタ）を使用しない動作モードとして、連続印字動作とティアオフ動作があります。

連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後、または、1枚フィードの時には、次の印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。

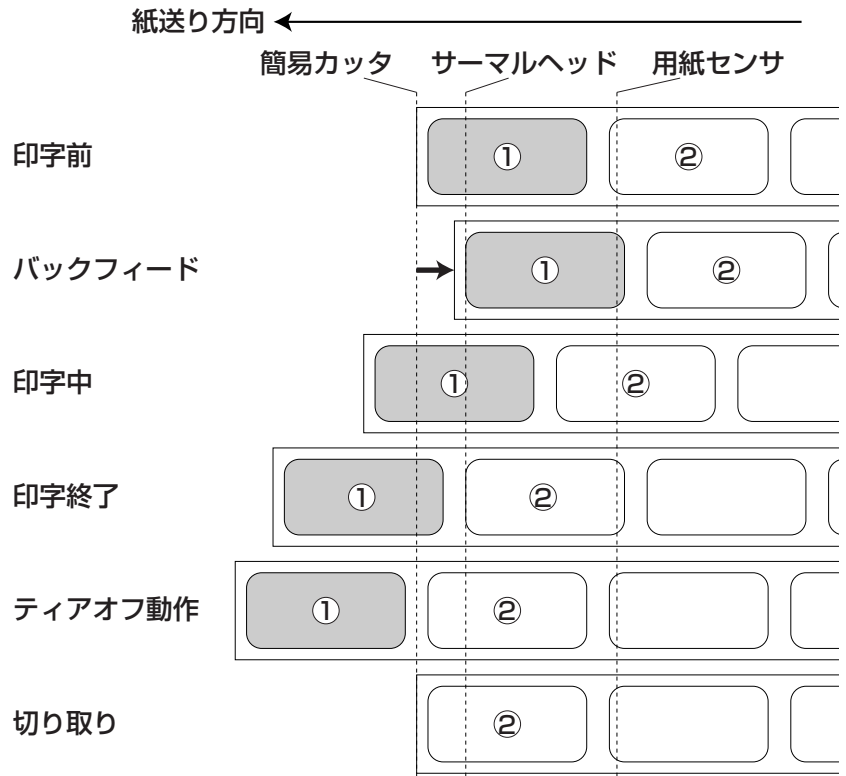


ティアオフ動作モード

ティアオフ動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間（台紙部）を簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。

この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切り取ることができます。

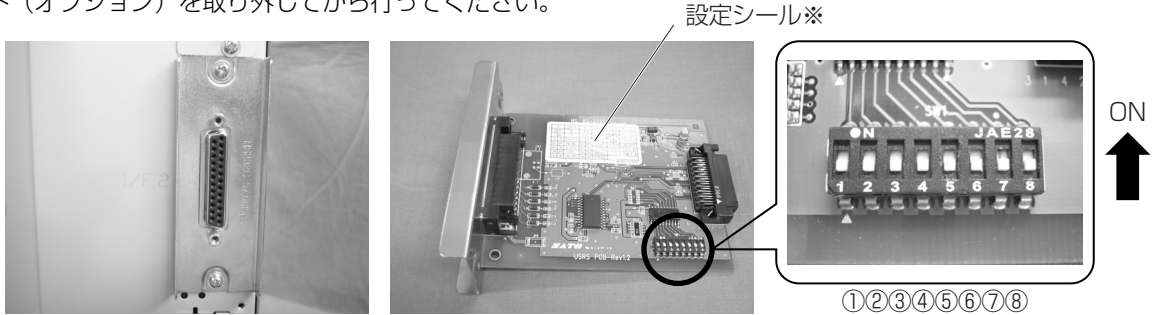
また、次の印字を行なう時には、用紙の先端がサーマルヘッド位置までもどり、印字を開始します。



インタフェースボードの設定

シリアルインタフェースボード (RS-232C)

シリアルインタフェースボード（オプション）には、通信条件を決めるディップスイッチがあります。ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②RS-232Cケーブルを取り外し、③シリアルインタフェースボード（オプション）の取り付けネジを2本取り外し、④シリアルインタフェースボード（オプション）を取り外してから行ってください。



スキャントロニクス SG400Rシリーズ シリアルインタフェースボード ディップスイッチ表				
NO	機能	説明		
1	データ長設定	ON : 7ビット OFF : 8ビット(初期値)		
2	パリティビット設定	OFF-OFF : 無し(初期値)		
3		OFF-ON : 偶数		
		ON-OFF : 奇数		
4	ストップビット設定	ON : 2ビット OFF : 1ビット(初期値)		
5	ボーレート設定	OFF-OFF : 9600bps		
6		OFF-ON : 19200bps (初期値)		
		ON-OFF : 38400bps		
		ON-ON : 57600bps		
7	通信プロトコル設定	1-7	1-8 互換モードOFF	互換モードON
8		OFF-OFF : READY/BUSY(初期値)		READY/BUSY
		OFF-ON : XON/XOFF		XON/XOFF
		ON-OFF : ステータス4		ステータス3
		ON-ON : 未使用		未使用

※シリアルインタフェースボードの設定1シールを確認してください。

通信プロトコル設定は互換モードによって異なります。販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。

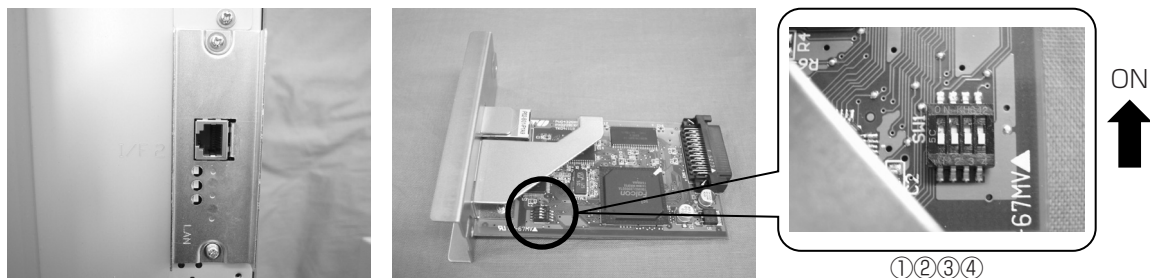
シリアルインタフェースボードのディップスイッチで設定できない通信条件は、プリンタ本体の通信設定で設定してください。→48ページ

⚠ 注意

- インタフェースボードの取り付け、取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。

LANインタフェースボード

LANインタフェースボード（オプション）には、LAN設定情報初期化、LAN設定情報印字、自己診断印字するディップスイッチがあります。ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②LANケーブルを取り外し、③LANインタフェースボード（オプション）の取り付けネジを2本取り外し、④LANインタフェースボード（オプション）を取り外してから行ってください。



スカントロニクス SG400Rシリーズ LANインタフェースボード ディップスイッチ表		
NO	機能	説明
1	未使用	OFF：初期値
2	LANインタフェースボード設定情報初期化	ON：（初期化します）
		OFF：（初期化しません）：初期値
3	LANインタフェースボード設定情報印字 （IPアドレスなどの設定情報を印字します）	ON：（印字します）
		OFF：（印字しません）：初期値
4	LANインタフェースボード自己診断印字 （診断結果を印字します）	ON：（印字します）
		OFF：（印字しません）：初期値

※通常使用時は、全てOFFに設定してください。

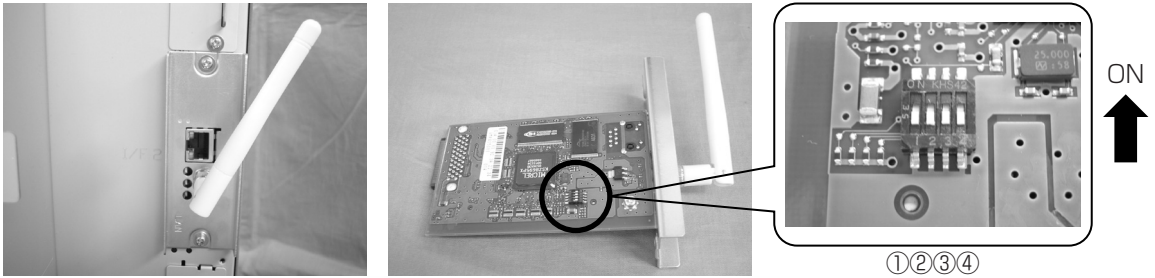
⚠ 注意

- インタフェースボードの取り付け、取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。

無線LANインタフェースボード

無線LANインタフェースボード（オプション）には、LAN/無線LAN設定情報初期化、LAN/無線LAN設定情報印字、自己診断印字、通信モードを設定するディップスイッチがあります。

ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②LANケーブルを接続している場合はLANケーブルを取り外し、③無線LANインタフェースボード（オプション）の取り付けネジを2本取り外し、④無線LANインタフェースボード（オプション）を取り外してから行ってください。



スキャントロニクス SG400Rシリーズ 無線LANインタフェースボード ディップスイッチ表		
NO	機能	説明
1	未使用	OFF：初期値
2	無線LANインタフェースボード設定情報初期化	ON：（初期化します）
		OFF：（初期化しません）：初期値
3	無線LANインタフェースボード設定情報印字 （IPアドレスなどの設定情報を印字します）	ON：（印字します）
		OFF：（印字しません）：初期値
4	無線LANモード	ON：（Infrastructureモード）
		OFF：（Adhocモード）：初期値

*LANケーブルを接続して電源を投入すると、LANインタフェースで起動します。

*LANケーブルを接続せずに電源を投入すると、無線LANインタフェースで起動します。

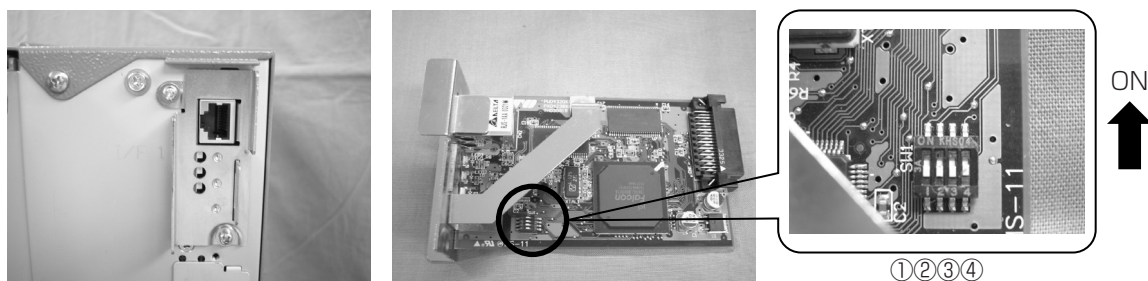
*通常使用時、1～3はOFFに設定してください。

⚠ 注意

- インタフェースボードの取り付け、取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。

ミニLANインタフェースボード

ミニLANインタフェースボード（オプション）には、LAN設定情報初期化、LAN設定情報印字、自己診断印字するディップスイッチがあります。ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②LANケーブルを取り外し、③ミニLANインタフェースボード（オプション）の取り付けネジを2本取り外し、④ミニLANインタフェースボード（オプション）を取り外してから行ってください。



スキャントロニクス SG400Rシリーズ ミニLANインタフェースボード ディップスイッチ表		
NO	機能	説明
1	未使用	OFF：初期値
2	ミニLANインタフェースボード設定情報初期化	ON：（初期化します）
		OFF：（初期化しません）：初期値
3	ミニLANインタフェースボード設定情報印字 （IPアドレスなどの設定情報を印字します）	ON：（印字します）
		OFF：（印字しません）：初期値
4	ミニLANインタフェースボード自己診断印字 （診断結果を印字します）	ON：（印字します）
		OFF：（印字しません）：初期値

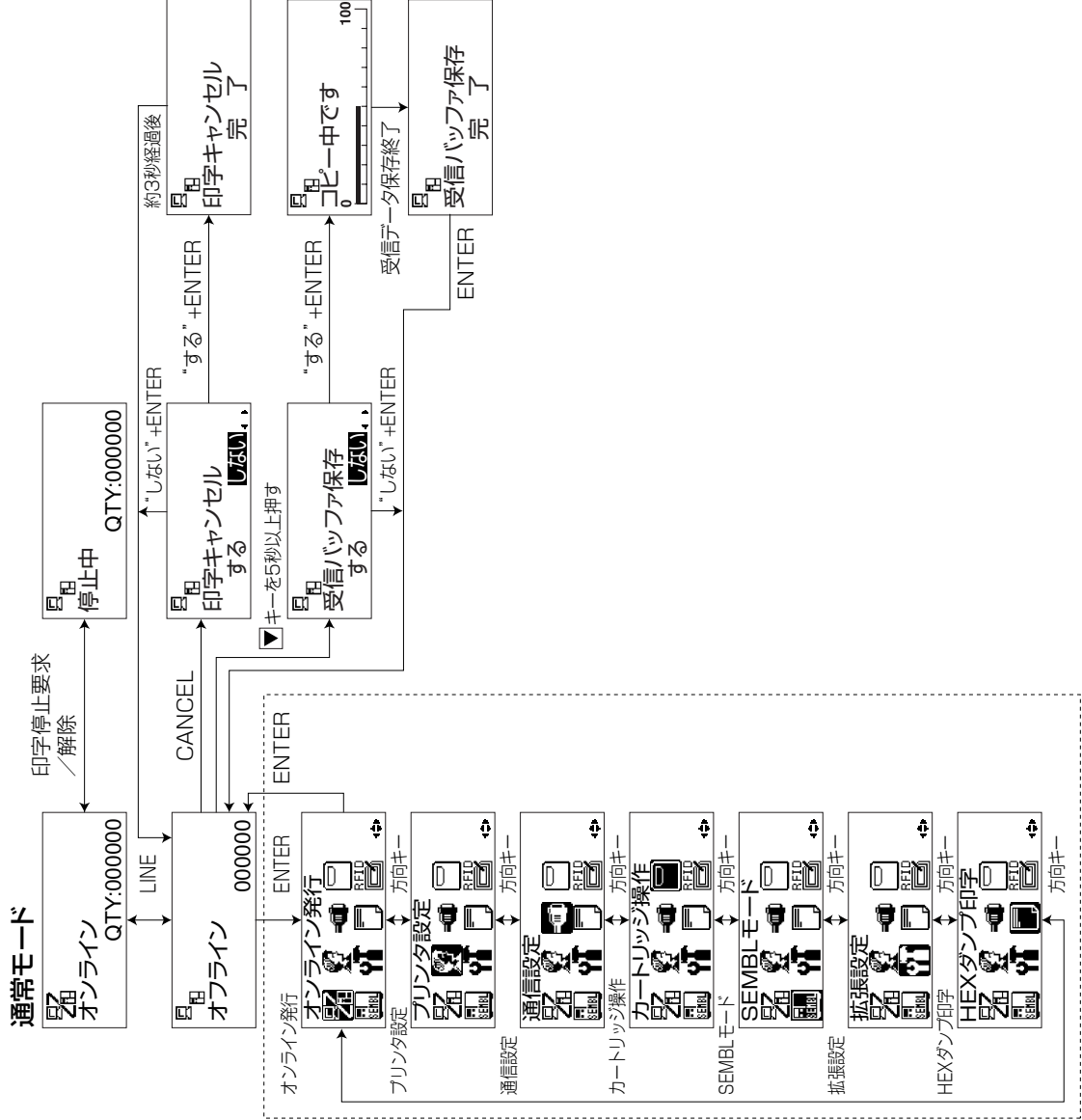
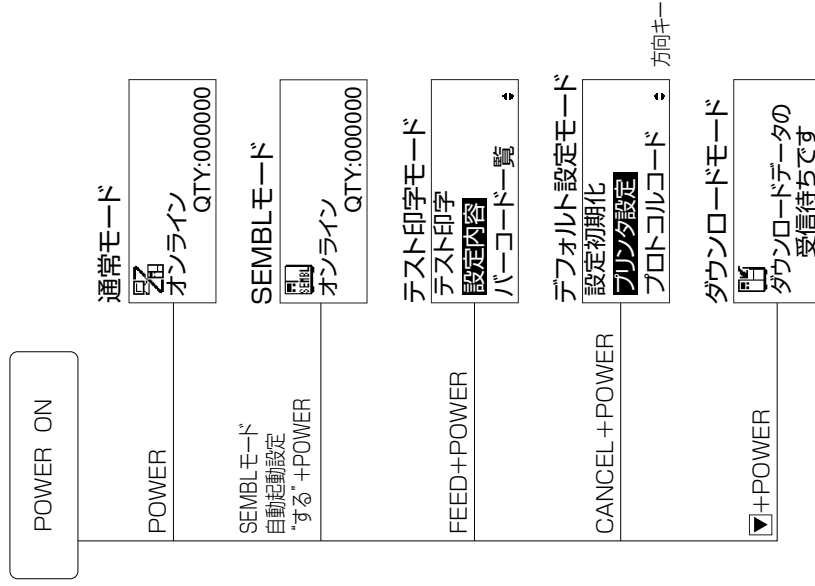
※通常使用時は、全てOFFに設定してください。

⚠ 注意

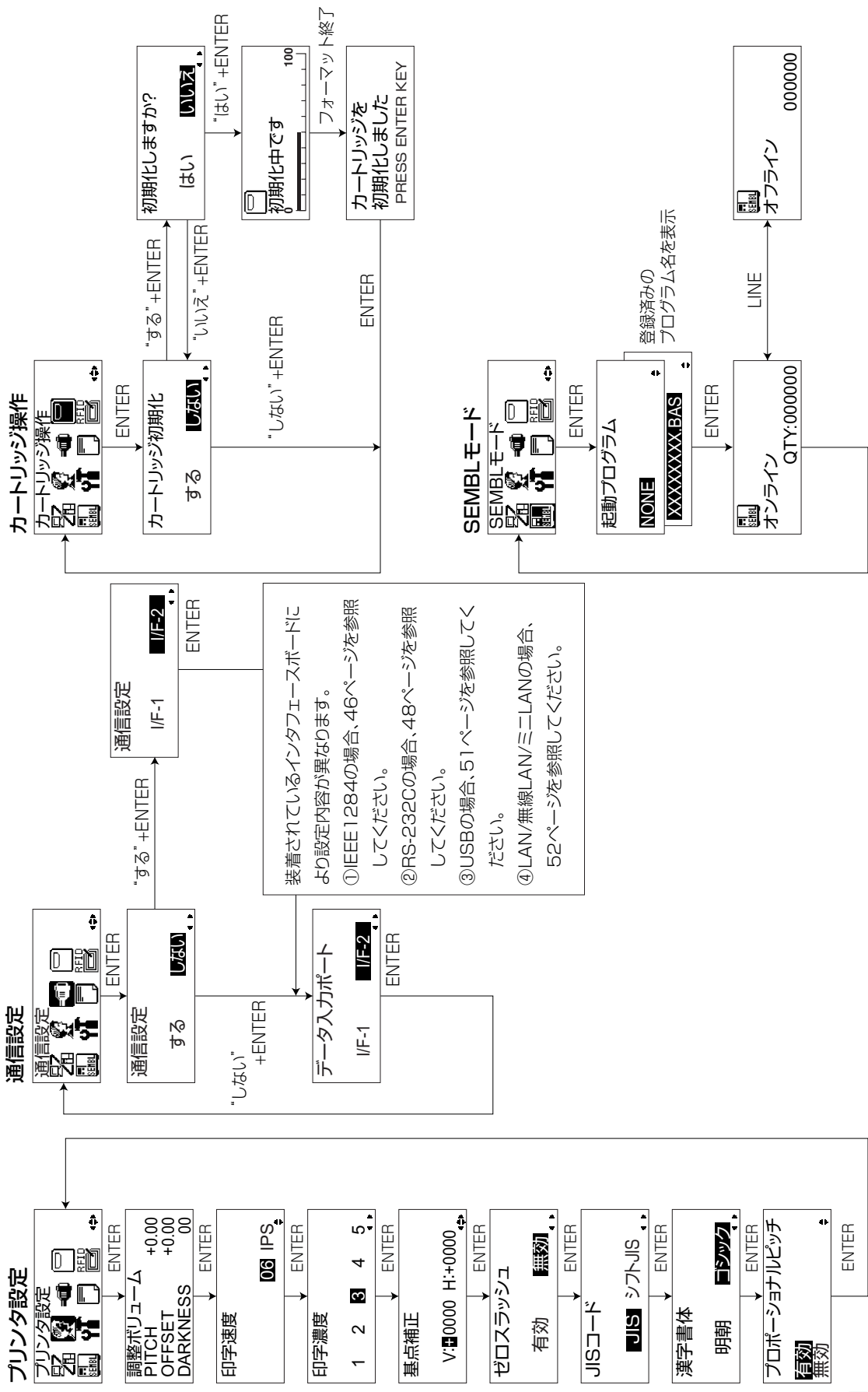
- インタフェースボードの取り付け、取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。

74 ディスプレイ遷移図

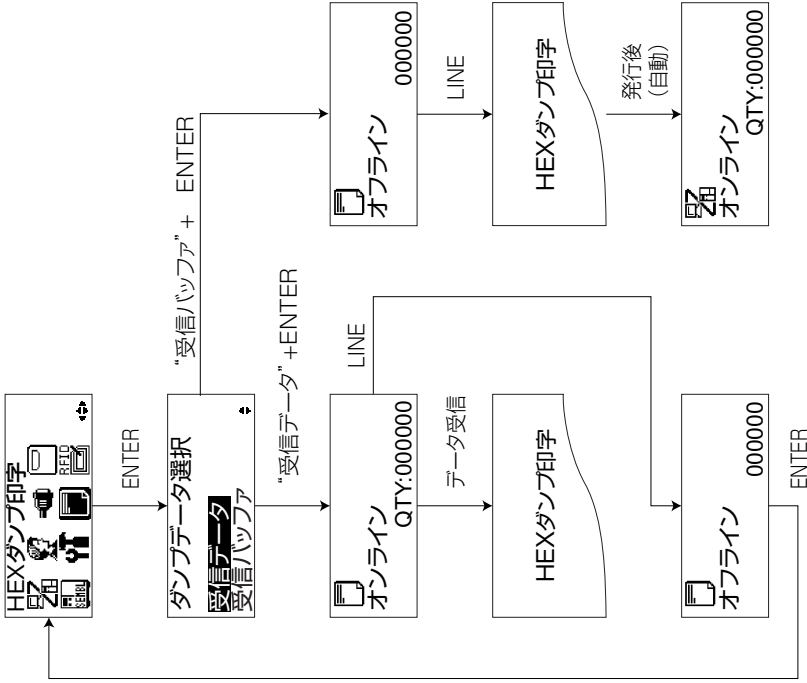
LCDモード一覧



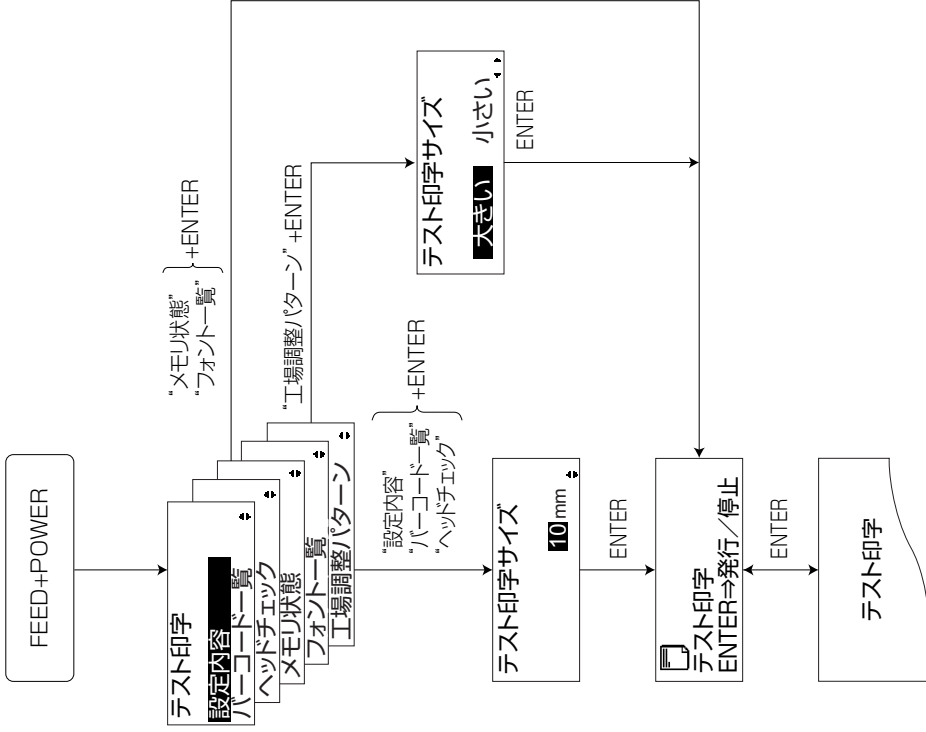
プリンタ設定モードメニュー



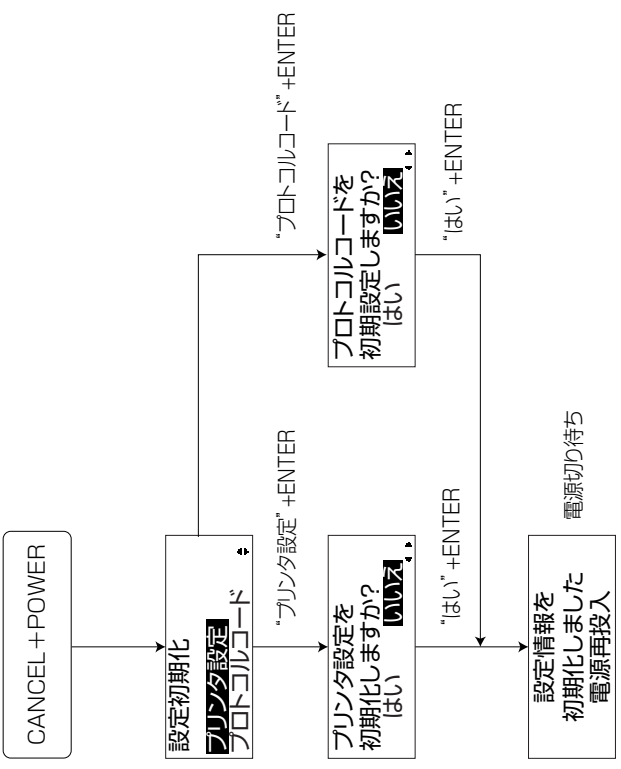
HEXダンプ印字



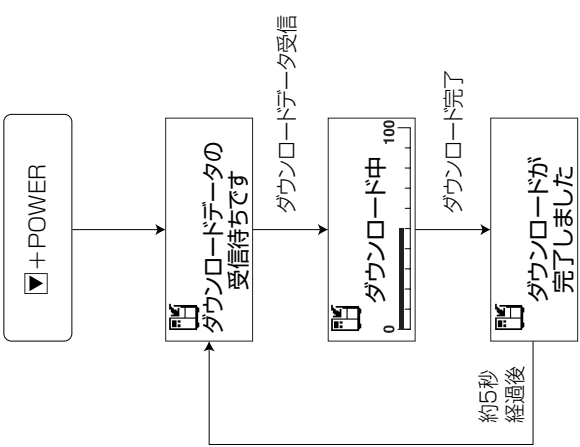
テスト印字モード



デフォルト設定モード



ダウンロードモード




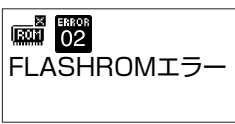
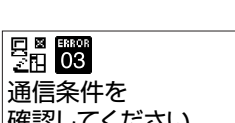

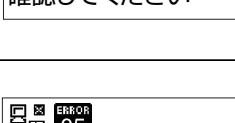
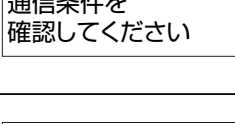
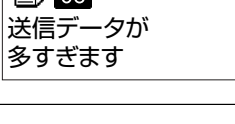
あれ？どうしたのかな？








ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本プリンタはエラー状態になります。こんなとき、どうしたらよいか説明します。また、本プリンタの操作をしていてうまくいかなかったときはこの章をお読みください。

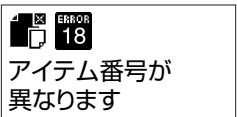
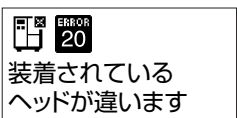
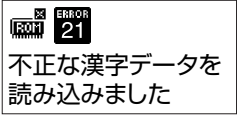
▲エラーメッセージがでたけれど





ディスプレイにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。こんなときどうしたらよいか説明します。

また、プリンタを操作していて、うまくいかないときもこの章をお読みください。





エラー番号	LCD画面	説明
01	 マシンエラー	マシンエラーの画面です。 原因：①基板の不良です。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー
02	 FLASHROMエラー	フラッシュROMエラーの画面です。 原因：①フラッシュROMにアクセスできません。 ②書き込み回数オーバー 対策：①②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー
03	 通信条件を確認してください	パリティエラーの画面です。 原因：①RS-232Cの通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が正しくありません。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
04	 通信条件を確認してください	オーバーランエラーの画面です。 原因：①RS-232Cの通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が正しくありません。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
05	 通信条件を確認してください	フレーミングエラーの画面です。 原因：①RS-232Cの通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が正しくありません。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
06	 送信データが多すぎます	バッファオーバーの画面です。 原因：①受信バッファを超えるデータを受信しました。 ②通信プロトコルが合っていません。 対策：①②通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
07	 ヘッドが開いています	ヘッドオープンの画面です。 原因：①ヘッド部がロックされていません。 ②ヘッド開閉検知用マイクロスイッチの異常です。 対策：①ヘッド部をロックしてください。 ②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー

エラー番号	LCD画面	説明
08	 <p>用紙が なくなりました</p>	<p>ペーパーエンドの画面です。 原因：①用紙がありません。 ②用紙が正しくセットされていません。 対策：①②用紙を正しくセットしてください。 警告音：短音3回 外部信号：ペーパーエンド</p>
09	 <p>リボンが なくなりました</p>	<p>リボンエンドの画面です。 原因：①リボンがありません。 ②リボンが切れています。 対策：①②リボンを正しくセットしてください。 警告音：短音3回 外部信号：リボンエンド</p>
10	 <p>用紙を正しく セットして下さい</p>	<p>センサエラーの画面です。 原因：①用紙センサのレベルが合っていません。 ②センサ種の設定が合っていません。 ③用紙蛇行（用紙位置のセットが正しくありません） 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 ②用紙に合ったセンサを使用してください。 ③用紙を正しくセットしてください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
11	 <p>ヘッドが 断線しています</p>	<p>ヘッドエラーの画面です。 原因：①ヘッドに異常があります。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー</p>
12	 <p>メモリにアクセス できません</p>	<p>カートリッジ書込みエラー画面です。 原因：①カートリッジが挿入されていません。 ②コピー領域がありません。 ③書込みに失敗しました。 ④フォーマットされていません。 対策：①カートリッジを挿入してください。 ②コピー領域を確認してください。 ③カートリッジを交換してください。 ④カートリッジをフォーマットしてください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー</p>
13	 <p>メモリの空き容量 がありません</p>	<p>カートリッジ容量不足の画面です。 原因：①カートリッジの空き容量がありません。 対策：①カートリッジの不要なデータを消してください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー</p>
14	 <p>ダウンロードデータが 不正です</p>	<p>ダウンロードデータエラーの画面です。 原因：①不正なダウンロードデータを受信しました。 ②ダウンロード領域がありません。 対策：①ダウンロードデータを確認してください。 ②ダウンロードデータサイズを確認してください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー 番号	LCD画面	説 明
15	 <p>用紙が 切れませんでした</p>	<p>カッタエラーの画面です。 原因：①カッタ部で用紙詰まりが発生しています。 ②カッタ刃が所定の位置に戻っていません。 対策：①カッタ部の清掃をしてください。 ②[FEED]キーを押して、カッタ刃を所定の位置に戻してください。 それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターに お問い合わせください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
16	 <p>カッタが 開いています</p>	<p>カッタオープンの画面です。 原因：①カッタユニットのカッタ上刃が開いています。 ②センサの異常。 対策：①カッタユニットのカッタ上刃を閉じてください。 ②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
17	 <p>BCCが 一致していません</p>	<p>BCCチェックエラーの画面です。 原因：①送信データ(1アイテム分)に付加されたBCCが異なります。 対策：①送信データおよび通信設定を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
18	 <p>アイテム番号が 異なります</p>	<p>アイテムNOエラーの画面です。 原因：①印字データ(1アイテム分)のシーケンス番号が前に印字したデータのシーケンス 番号と合っていません。 対策：①送信データおよび通信設定を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
20	 <p>装着されている ヘッドが違います</p>	<p>ヘッド密度エラーの画面です。 原因：①プリンタにヘッドが装着されてません。 ②非対応のヘッドが装着されています。 対策：①②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回 外部信号：出力しない</p>
21	 <p>不正な漢字データを 読み込みました</p>	<p>漢字ROMエラーの画面です。 原因：①漢字ROMより不正な漢字データが読み込まれました。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー番号	LCD画面	説明
23	 RFIDタグ不良	RFIDタグエラーの画面です。 原因：①RFIDタグへ情報の書き込みが正常に行えませんでした。 対策：①別のRFIDタグに情報を書込んでください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
	 RFIDタグ不良 LINE⇒発行再開	RFIDタグエラー、エラー解除確認の画面です。 原因：①RFIDタグへ情報の書き込みが正常に行えませんでした。 対策：①別のRFIDタグに情報を書込んでください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
	 RFIDプロテクトエラー	RFIDタグプロテクトエラーの画面です。 原因：①RFIDタグがプロテクトされていて、情報の書き込みが行えませんでした。 対策：①別のRFIDタグに情報を書込んでください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
24	 リボンコアセンターがロック されていません	リボン巻取部ノブのノンロックエラーの画面です。 原因：①リボン巻取部ノブがロックされていません。 対策：①リボン巻取部ノブをロックしてください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
25	 印字飛びエラー	印字飛びエラーの画面です。 原因：①用紙センサのレベルが合っていない。 対策：①用紙サイズを確認してください。 それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：なし 外部信号：マシンエラー

【警告表示】

警告番号	LCD画面	説明
1	 <p>オンライン QTY:000000</p>	<p>ラベルニアエンドの画面です。 原因：①プリンタにセットされている用紙の残量が少なくなりました。 対策：①用紙を交換してください。 警告音：なし 外部信号：出力しない</p>
2	 <p>オンライン QTY:000000</p>	<p>リボンニアエンドの画面です。 原因：①プリンタにセットされているリボンの残量が少なくなりました。 対策：①リボンを交換してください。 警告音：なし 外部信号：リボンニアエンド</p>
3	 <p>オンライン QTY:000000</p>	<p>受信バッファニアフルの画面です。 原因：①受信バッファの空き容量が少なくなりました。 対策：①受信済みデータの解析が終了するまで、上位機器からデータ送信しないでください。 警告音：なし 外部信号：出力しない</p>
4	 <p>オンライン QTY:000000</p>	<p>コマンドエラーの画面です。 原因：①コマンドエラーを検出しました。 対策：①印字データを見直してください。 警告音：短音1回 外部信号：出力しない</p>
5	 <p>オンライン QTY:000000</p>	<p>ヘッドエラーの画面です。 原因：①ヘッドチェック検出方法に“通常”を選択した状態で、ヘッド断線を検出し、ヘッドチェック検出方法を“バーコード”に切替えて印字発行を継続しています。 対策：①ヘッドを交換してください。 警告音：なし 外部信号：出力しない</p>

▲あれ？STATUS LEDが…

STATUS LEDが点滅または警告アイコン表示する場合があります。
 これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○STATUS LEDが緑で点滅

メッセージの意味

要因：受信データを多く受信したため、受信バッファが残り少なくなっています。
 対応方法：このまま使用しても構いません。
 プリンタの内部処理が進み、受信データが少なくなると自動的に消えます。

▲あれ？RIBBON LEDが…

RIBBON LEDが点滅または警告アイコン表示する場合があります。
 これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○RIBBON LEDが赤で点滅

メッセージの意味

要因：リボンが残り少なくなっています。
 対応方法：このまま使用し続けても構いません。
 印字途中でエラー09リボンエンドが表示された場合はリボンを交換してください。

▲あれ？ LABEL LEDが…

LABEL LEDが点滅または警告アイコン表示する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○LABEL LEDが赤で点滅

メッセージの意味

要 因：用紙が残り少なくなっています。

対応方法：このまま印字し続けても構いません。

印字途中でエラー08ペーパーエンドが表示された場合は用紙を交換してください。

▲あれ？ ブザー音が…

コマンド記述の誤りまたは印字領域指定が誤っています。

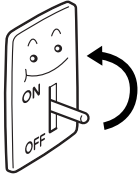
対応方法：プログラムを見直してください。

▲こんなときは？

本プリンタの操作をしてもうまくいかなかったときは、つぎのことを確認してみてください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない。



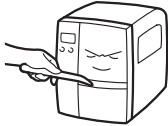

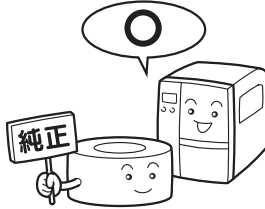
	【確認してください】	【直しかた】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本プリンタに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	電源コードがいたんでいませんか？	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本プリンタを購入された販売店・ディーラーで必ず本プリンタ専用の電源コードをお求めください。本プリンタ専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
4	本プリンタの電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。 
5	建物の電源ヒューズが切れたり、ブレーカーが落ちたりしていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。



注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

紙送りはするけど印字されない

	【確認してください】	【直しかた】
1	<p>サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？</p>	<p>サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニングペンで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります)。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*でふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→92ページ</p> 
2	<p>本プリンタ用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？</p> 	<p>サトー製プリンタには、純正サプライのご使用をお願いします。</p> 
3	<p>用紙センサが汚れていませんか？</p>	<p>用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→92ページ</p>
4	<p>カーボンリボンが正しく巻取れていますか？</p>	<p>リボン巻取り部のノブが元の位置にセットされていないかったら、1度巻きつけたカーボンリボンを取り除き、ノブを元の位置に戻してセットしてください。</p>
5	<p>コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？</p>	<p>電源を入れ直してください。 それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。</p>

*プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

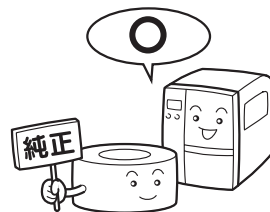
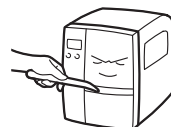


- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

きれいに印字しない



	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンがきちんと固定されているか調べてください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニングペンで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります)。 このとき、ラベルの糊がサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*でふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。 →92ページ
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本プリンタ用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？	サトー製プリンタには、純正サプライのご使用をお願いします。


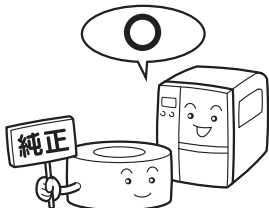


*プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。



- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

印字位置がずれる

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンをきちんと固定してください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるようにセットし直してください。
2	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。
3	型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていませんか？	用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。
4	本プリンタ用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？ 	サトー製プリンタには、純正サプライのご使用をお願いします。 
5	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→92ページ
6	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	電源を入れ直してください。それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。
7	ピッチ補正（ボリューム）または、基点補正（ユーザーモード設定）の内容がおかしくありませんか？	ピッチ補正（ボリューム）または、基点補正（ユーザーモード設定）の内容を設定し直してください。

*プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。



- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

メモ리카ートリッジの取り扱い

▲メモ리카ートリッジ

印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶させることができます。

取り付け方

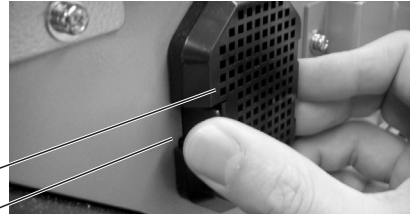
1

プリンタの電源が切れていることを確認し、オープンカバーを開けます。

2

メモ리카ートリッジカバーのつまみを内側に倒して取り外します。

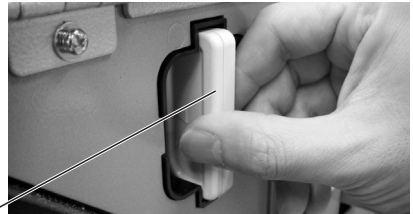
メモ리카ートリッジカバー
メモ리카ートリッジカバーのつまみ



3

メモ리카ートリッジを差し込みます。

メモ리카ートリッジ



4

メモ리카ートリッジカバーのつまみを押しながら取り付けます。



5

オープンカバーを閉じます。



注意

- メモ리카ートリッジを取り付けずにメモ리카ードコマンドを送信するとエラーが発生します。詳細は、「あれ？ どうしたのかな？」を参照してください。→79ページ

取り外し方

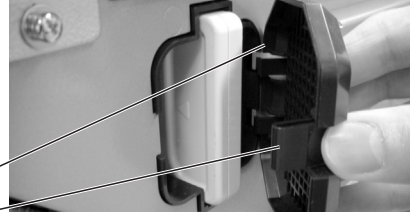
1

プリンタの電源が切れていることを確認し、オープンカバーを開けます。

2

メモリカートリッジカバーのつまみを内側に倒して取り外します。

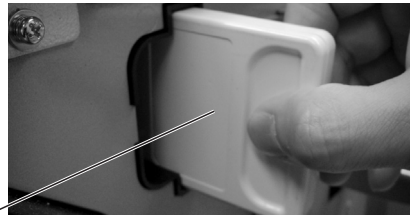
メモリカートリッジカバー
メモリカートリッジカバーのつまみ



3

メモリカートリッジを引き抜きます。

メモリカートリッジ



4

メモリカートリッジカバーのつまみを押しながら取り付けます。



5

オープンカバーを閉じます。



注意

- メモリカートリッジの取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。メモリカートリッジや基板、プリンタ本体を破損するおそれがあります。
- メモリカートリッジカバーは、メモリカートリッジが挿入されているとき、または挿入されていないときでも、異物混入防止のため必ず取り付けてください。
- メモリカートリッジカバーは、無くさないように保管してください。

オプションについて

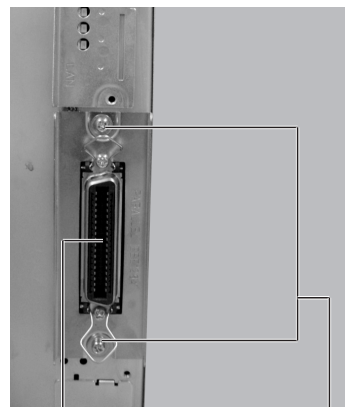
本プリンタではお客様のニーズにお答えできるように、次のオプションを用意しております。

オプションの種類

▲インターフェイスボード

プリンタとコンピュータとのデータをやり取りするためのボードです。

- パラレルインターフェイスボード (IEEE1284)
(オプション)
- シリアルインターフェイスボード (RS-232C)
(オプション)
- USBインターフェイスボード
(オプション)
- LANインターフェイスボード
(オプション)
- 無線LANインターフェイスボード
(オプション)
- ミニLANインターフェイスボード
(オプション)
- ETXコネクタ (外部信号インターフェイス)
(オプション)



インターフェイスボード 取付ネジ

※ご不明な点がございましたら、購入された販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。



注意

インターフェイスボードの取り付け取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インターフェイスボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。

▲カタ仕様(オプション)

用紙をカットするカタユニットをプリンタに取り付けたタイプです。

▲RFID仕様(オプション)

ICタグ、ラベルを読み込み・書き込みする、RFIDユニットを取り付けたタイプです。

RFIDタイプへの対応は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。

毎日のお手入れ

本プリンタは大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。クリーニングペン、プリンタクリーニングセット*、ラッピングシート*を使って定期的に清掃してください。



警告

◆感電防止

サーマルヘッドやプラテンローラーを清掃するときは、必ず電源を切ってください。感電するおそれがあります。

▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次の通りです。

プリンタクリーニングセット*でのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラー、) …用紙1巻おき、あるいは用紙150メートル印字ごと用紙長検出センサ
- その他…用紙6巻おき、あるいは用紙900メートル印字ごと

ラッピングシート*でのお手入れ

- 用紙6巻おき、あるいは用紙900メートル印字ごと

▲お手入れのときの注意

- 上の清掃時期を目安に清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*、ラッピングシート*をご使用ください。
- ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってから行ってください。
- 用紙・カーボンリボンを取り外してから清掃を行ってください。

▲お手入れのしかた (1)

- クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*を使って、つぎの部分を清掃してください。

サーマルヘッド部



サーマルヘッド

プラテンローラー

センサとガイド



用紙センサ

ラベルガイド

* プリンタクリーニングセットとラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。

- ① オープンカバー・サーマルヘッド部を開け、ラベル・カーボンリボンを取り外し、サーマルヘッド部分を見えるようにします。
- ② クリーニングペンで、サーマルヘッドの汚れを拭き取ります。
- ③ プリント清掃液を綿布に浸して、用紙センサの汚れを拭き取ります。
- ④ プリント清掃液を綿布に浸して、プラテンローラーの汚れを拭き取ります。

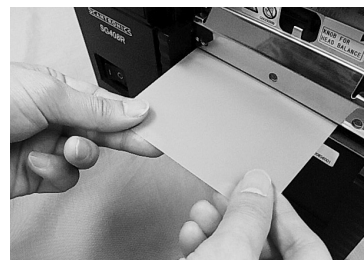


▲お手入れのしかた (2)

ラッピングシート*を使って次の部分をクリーニングしてください。

ラッピングシート*は、ザラザラしている面がサーマルヘッド側になるようにはさんでください。

- ① トップカバーを開け、ラベル・カーボンリボンを取り外し、サーマルヘッド部分が見えるようにします。
- ② ラッピングシート*をサーマルヘッドとプラテンローラーの間に挟み、トップカバーを閉じます。
※ラッピングシートは、ザラザラしている面がサーマルヘッド側になるように挟んでください。
- ③ 両手でラッピングシート*を手前に引きます。
これを2~3回繰り返してください。
これでサーマルヘッドの付着カスは除去されます。まだ、カスが残っているときは、さらに数回繰り返してください。
- ④ サーマルヘッドをクリーニングペンでクリーニングし、ヘッド面をきれいにしてください。



*ラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。
※ラッピングシートの使い方は、ラッピングシート*に添付しています「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

基本仕様

モデル名	スキャントロニクスSG408R	スキャントロニクスSG412R	スキャントロニクスSG424R
印字方式	感熱方式／熱転写方式 兼用		
ヘッド密度 (解像度)	8dot/mm (203dpi)	12dot/mm (305dpi)	24dot/mm (609dpi)
印字有効エリア	最大 長さ2500mm×幅104mm	最大 長さ1500mm×幅104mm	最大 長さ400mm×幅104mm
印字速度	50～250mm/秒 2～10インチ/秒	50～250mm/秒 2～10インチ/秒	50～150mm/秒 2～6インチ/秒
	注) 但し、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては制限する場合があります。		
印字禁止領域	長さ方向 上：1.5mm以下、下：1.5mm以下 (台紙含まず) 幅方向 左：1.5mm以下、右：1.5mm以下 (台紙含まず)		
用紙種類／用紙形態	サトー純正用紙のご使用をお願いします。/ロール紙、ファンフォールド紙		
用紙厚	60～268 μ m (0.06～0.268mm)		
用紙サイズ	<p>標準 長さ 6～397mm (9～400mm) 幅 22～128mm (25～131mm)</p> <p>ティアオフ 長さ 17～397mm (20～400mm) 幅 22～128mm (25～131mm)</p> <p>カッタ 長さ 17～397mm (20～400mm) 幅 22～128mm (25～131mm)</p> <p>※()は台紙サイズ 注) 発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。</p>		
用紙外径／支管サイズ	<p>ロール紙 用紙外径：最大 265mm (3インチ支管) 支管内径：1.5インチ、3インチ、4インチ</p> <p>ファンフォールド紙 最大積み高さ：200mm</p>		
リボン種類	サトー純正カーボンリボンのご使用をお願いします。		
リボンサイズ／ リボン形態／ リボン巻方向	<p>リボン長：最大450m巻 リボン幅：最大128mm 巻き方向：表巻き、裏巻き 巻取り方式：支管レス</p>		
発行モード	<p>標準：連続、ティアオフ オプション：カッタ</p>		
寸法／重量	幅278mm×奥行460mm×高さ309mm/約14.5kg		
電源仕様	<p>入力電圧：AC100V\pm10% 消費電力：ピーク時 178W/190VA (印字率 30%) 待機時：33W/35VA</p>		
環境条件 (温度／湿度)	<p>動作周囲温度：0～40$^{\circ}$C 湿度：30～80%RH (但し、結露無きこと) 保管周囲温度：-5～60$^{\circ}$C 湿度：30～90%RH (但し、結露無きこと) ※サプライ製品は除く</p>		
インタフェース	<p>①通信インタフェース (ミニLANインタフェース用 1スロット、他インタフェース用 1スロット) ②EXTコネクタ 1スロット</p>		
通信インタフェース ボード	<p>①IEEEインタフェースボード ②RS-232Cインタフェースボード ③USBインタフェースボード ④LANインタフェースボード ⑤無線LANインタフェースボード ⑥ミニLANインタフェースボード</p>		

モデル名		スキャントロニクスSG408R	スキャントロニクスSG412R	スキャントロニクスSG424R
オプション		①カット仕様 ②RFID仕様 (HF帯) ③RFID仕様 (UHF帯) ④検証用スキャナユニット ⑤外部巻取機 (RWG500) ⑥EXT外部信号インタフェース (アンフェノール14ピン)		
操作キー		LCD : グラフィックLCD (横128dot×縦64dot) バックライト付き キー : LINE、FEED、FUNCTION、     、ENTER、CANCEL		
レベル調整		①アイマークセンサレベル調整 ②アイマーク2センサレベル調整 ③ギャップセンサレベル調整 ④印字濃度調整 ⑤印字位置調整 ⑥カット、ティアオフ停止位置調整		
用紙長検出センサ		①アイマークセンサ (反射タイプ) ②アイマークセンサ2 (反射タイプ) ③ギャップセンサ (透過タイプ)		
バーコード		UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、 GS1-128(UCC/EAN-128)、CODABAR(NW-7)、ITF、インダストリアル2of5、 マトリックス2of5、カスタマバーコード、UPCアドオンコード、 GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、 GS1 DataBar Expanded Stacked ※GS1 DataBarはRSSのことです。		
2次元コード		QRコード、マイクロQRコード、PDF417、マイクロPDF、 セキュリティQRコード、MAXIコード、GS1データマトリックス (ECC200)		
合成シンボル		EAN-13 Composite、EAN-8 Composite、UPC-A Composite、 UPC-E Composite、GS1 DataBar Composite、 GS1 DataBar Truncated Composite、GS1 DataBar Stacked Composite、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite、 GS1 DataBar Limited Composite、GS1 DataBar Expanded Composite、 GS1 DataBar Expanded Stacked Composite、GS1-128 Composite ※GS1 DataBarはRSSのことです。 ※GS1-128はUCC/EAN128のことです。		
標準搭載 フォント	ビット マップ フォント	X20文字 5×9dot (英数字、記号、カナ) X21文字 17×17dot (英数字、記号、カナ) X22文字 24×24dot (英数字、記号、カナ) X23文字 48×48dot (英数字、記号、カナ) X24文字 48×48dot (英数字、記号、カナ) 漢字16×16dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体/明朝体選択可) 漢字22×22dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体/明朝体選択可) 漢字24×24dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体/明朝体選択可) 漢字32×32dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体/明朝体選択可) 漢字40×40dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体/明朝体選択可) ※日本語 (JIS×208 準拠)		
		OCR-A文字 15×22dot (英数字、記号)	OCR-A文字 22×33dot (英数字、記号)	OCR-A文字 44×66dot (英数字、記号)
		OCR-B文字 20×24dot (英数字、記号)	OCR-B文字 30×36dot (英数字、記号)	OCR-B文字 60×72dot (英数字、記号)
	ラスタライザ フォント	CG Times (英数字、記号) CG Triumvirate (英数字、記号)		
	アウトライン フォント	英数字、記号、カナ、漢字		
印字方向		文 字 : 0°、90°、180°、270° バーコード : パラレル1 (0°)、パラレル2 (180°)、シリアル1 (90°)、シリアル2 (270°)		
バーコード比率		1:2、1:3、2:5 任意指定可能		
拡大倍率 (文字・バーコード)		文 字 : 縦1~12倍、横1~12倍 バーコード : 1~12倍		

モデル名		スカントロニクスSG408R	スカントロニクスSG412R	スカントロニクスSG424R
搭載機能		①ステータス返送機能 ②グラフィック機能 ③連番機能 ④フォームオーバーレイ機能(電源断消去) ⑤外字登録機能 ⑥文字補正機能 ⑦白黒反転機能 ⑧罫線機能 ⑨フォーマット登録機能 ⑩ゼロスラッシュ切替機能 ⑪JIS/シフトJIS 切替機能 ⑫ダンプリスト機能 ⑬アウトラインフォント機能 ⑭アウトライン変形機能		
自己診断機能		①ヘッド切れチェック ②ヘッドオープン検出 ③ペーパーエンド検出 ④ラベルニアエンド検出 ⑤リボンエンド検出 ⑥リボンニアエンド検出 ⑦リボンコアノンロック検出 ⑧テスト印字 ⑨漢字ROMチェック ⑩カッターオープン(オプション使用時)		
ノイズ(EMC)規格		VCCI ClassB		
無線規格	無線LAN (2.45GHz)	電波法2.45GHz帯高度化小電力データ通信システムの認証		
	HF帯RFID	電波法13.56MHz帯高度化小電力データ通信システムの認証		
	UHF帯RFID	電波法950MHz帯高度化小電力データ通信システムの認証		

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

・QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

無線LAN仕様をお買上げのお客様へ

電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく技術基準の適合認証を受けています。従って本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。

以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・本製品を分解/改造すること
- ・本製品に貼ってある証明ラベル(シリアルシール)をはがすこと

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。

電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線LAN機器の近辺。

無線LANインタフェースをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。

保守サービス業務について、ご説明します。

サービスの種類一覧表

	交換部品	技術料	出向費
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より5年間とさせていただきます。
(機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ<http://www.sato.co.jp>でご確認ください。)

保守サービスの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
持ち込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サービスの説明

保証期間の保守サービス

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入より6か月間を保証期間として無償修理を行っております。

サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラー等の消耗部品につきましては、弊社純正サプライ品での走行距離30Km（カッタは30万回）または納入より6か月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

1. 目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理故障は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては1年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは1年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4年間まで継続して契約することができます。4年をこえる保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より半径80km以内いたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

スポットサービス

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかる場合がございますが、ご了承ください。スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械またはカード等に登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフト等々）は、修復作業時に壊れる場合があります。（登録された各種データ・ソフトの保証は出来ません）

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

MEMO

MEMO

SATO
DCS & Labeling Worldwide



植物性大豆油インキを
使用しています。



* Q02761000 *